

閉校記念誌

前田富士

北秋田市立前田小学校



北秋田市立前田小学校

閉校記念誌

前田富士



◇ 目 次 ◇

校章・校旗	3
校歌	4
前田小学校百四十九年の歴史のはじまり	6
校舎の移り変わり	7
実行委員長あいさつ	11
北秋田市長	12
北秋田市教育委員会教育長	13
前田小学校長	14
前田小学校PTA会長	15
前田小学校後援会会長	16
☆学校のあゆみ	
前田小学校のあゆみ	17
☆歴代校長・PTA会長・地域関係者	
歴代校長	27
歴代PTA会長	32
地域関係者	35



卒業生 37

保護者 46

☆思い出のアルバム

明治八年～大正十四年 48

昭和元年～昭和三十七年 49

昭和三十八年～昭和四十七年 51

昭和四十八年～昭和五十八年 53

昭和五十九年～平成六年 55

平成七年～平成十七年 57

平成十八年～平成二十四年 59

平成二十五年～平成二十八年 61

平成二十九年～令和元年 63

令和二年～令和四年 65

令和五年 67

☆全校児童・職員メッセージ

児童からのメッセージ 73

ぼく・わたしの好きな場所 81

先生方からのメッセージ 85

☆実行委員会組織図・編集後記

..... 88



校章・校旗



昭和三年十一月制定
製図者 大木善平氏
(秋田師範学校教授)

校章・校旗の制定について

校章は、昭和三年十一月に制定されました。

製図者は、秋田師範学校の美術の教授であった大木善平氏です。庄司研治氏のご尽力によるものでした。製図についての説明は記録がありませんが、「前田」の文字を図案化したものであり作者の意図が読み取れるものではないかと思っています。

校旗は、御大典記念に本校同窓会より寄贈されました。当時の東京市大澤旗店に注文した校旗は、同三年十一月八日に到着し、翌日校旗樹立式を行い、ここに校旗が制定されました。

(「百二十周年記念誌」より)

以来、校章は、前田小学校のシンボルとして、様々な所で使われてきました。印刷技術が進み、学校経営計画や学校封筒、体育着、名札などに印刷して使われました。形もその時によって多少の違いがありました。いつの頃からかは定かではありませんが、本来の校章の矢の羽根の所がはつきり分かるように隙間を入れたものを使うようになったようです。なぜそうなったかは、記録がありません。近年は、左上に示す校章が広く使われています。



(近年)



(制定当初)

校歌

前田小学校校歌

作詞 高橋政和
作曲 成田為三

一窓にそびゆる 前田富士
軒端流るる 阿仁川や
山うるわしく 水澄みて
わが学び舎の 気高きよ
二春はかすみの 中をぬい
秋はさきりの 道をふみ
朝な夕なに いでいりて
わが学び舎の 懐しき
三あゝ冬の日の ろのほだ火
あゝ夏の日の 冷風や
昼夜ここに 集い来て
わが学び舎の 樂しきよ
四われらが学ぶ その心
われらが歌う そのひびき
みな山川にならいきて
わが学び舎の 悦しき
五清き風をは 胸に吸い
強きからだを 鍛えつつ
神のまなこぞ 育つなる
わが学び舎の 厳しきよ

前田小学校校歌

作詞 高橋 政和
作曲 成田 為三



1. ま — ど に そ び ゆ る ま え だ — ふ — じ

2. は — る は か す み の な か を — ぬ — い



の — き ば な が る る あ に が — わ — や

あ — き は さ ぎ り の み ち を — ふ — み



や ま う — る — わ し く み ず す — み — て

あ さ な — ゆ — な — に い で い — り — て



わ が ま — な — び や の け だ か — さ — よ

わ が ま — な — び や の な っ か — し — さ

校歌



(北秋田市教育委員会提供)

校歌制定について

校歌は、昭和三年十一月に制定されました。その経緯は、明確ではありませんが、沿革史と当時を知る方々からの情報によると、作詞者高橋政和氏は、秋田県師範学校の文学の教授で、時を同じくして、庄司家から出られた庄司研治氏も同校の教授であったそうです。お二人は、親しくしておられたようで、昭和二年十月には、本校で講演会を行うなど、たびたび来校されていたとのこと。このようなことから、庄司研治氏が高橋政和氏に作詞を依頼したようです。

校歌制定は、庄司研治氏の働きかけにより、庄司家の肝入りで進められたようです。作詞された「窓にそびゆる前田富士」の歌詞は、本校を取り巻く情景が、実によく表現されています。このことから、作詞者は、ある期間阿仁前田に滞在して作詞したのではないかとされています。

歌詞は、同三年十月にできました。庄司研治氏は、即師範学校の先輩である成田為三氏に作曲を依頼し、同年十一月五日に作曲ができ、ここに本校に校歌が制定されました。

成田為三氏は、大正五年に「浜辺の歌」を作曲されたりして、当時すでに名声を馳せていたので、作曲料は高かったようです。当時の森吉町の米内沢高校も作曲を依頼しようとしたそうですが、断念したとのこと。本校の場合、師範学校の後輩であった庄司研治氏の御尽力と庄司家のご援助で実現したようです。(「百二十周年記念誌」より)

校歌の原譜を写譜した小冊子は、B5版よりやや小さめのわら半紙に、黒インクのペン書きで、丁寧に写譜されており、校歌の楽譜の他に歌い方について、スキートの滑り方を例にとった解説が二ページにわたって書かれており、クレッシェンドは、スキーがだんだん加速していくように、フォルテの所は、ジャンプした気分ですと分かり易くスキーの絵を記入し解説されています。冊子は紙よりで袋とじされていて、最後のページには、松山忠写譜と記されていました。

平成九年八月二十八日、浜辺の歌音楽館の収蔵庫で、成田為三氏が作曲した県内の学校の引き出しに、浜辺の歌音楽館の印鑑を押された原譜を写譜した楽譜のみが発見されたそうです。(金新佐久氏記による)

前田小学校百四十九年の歴史のはじまり

八幡森時代（明治八年～明治三十九年）

前田小学校のはじまりである八幡森時代を振り返るにあたり、この文章は、百二十周年記念誌に綴られた山城良治先生の寄稿を引用させていただきました。

前田小学校は明治八年三月十三日に、阿仁前田八幡森二十番地にある宝泉寺という古寺を校舎として創立されました。しかしながら、この公立前田小学校の創立前年の喩風録、明治七年一月二十八日の頃には、「学校設立、鈴木謙之助宅を借受け本日より開校、生徒三十人余り」とあり、前年に私立学校が開設されていたのであります。このことから考えれば、本校の歴史と伝統は明治七年から始まったとも考えられます。

1. 下等小学校時代（明治八年―明治十二年）

明治五年の学制による下等小学校で、古寺を校舎とする時代であります。教科は習字、単語読方、洋方算術、修身口授、の四科目でした。

2. 初等小学校時代（明治十三年―明治十九年）

明治十二年に学制を廃し、教育令を公布して、小学校を初等、中等、高等に分けられました。本校は初等小学校です。この頃になると古寺の校舎は腐朽化が甚だし、危険のため授業を一時中止することもありました。歴代の庄司兵藏氏が深くこれを遺憾として、校舎を新築し、献納したとされています。これは最初の校舎であり、明治三十一年の改築まで使用されています。またこの頃には、前田小学校を本校として、分校の五味堀小学校、小又小学校がありました。どういふわけか本校を小又小にしたり、また前田小にしたりする変遷もみられました。

3. 阿仁前田尋常小学校時代（明治二十年―明治二十二年）

明治十九年の小学校令により、本校は阿仁前田尋常小学校と改称しました。四ヶ年で修業する定めでありました。

4. 前田簡易小学校時代（明治二十二年―明治二十四年）

以前に公布した小学校令では、地域の事情によって、行われたい所に簡易科の設置を許可しました。本校は前田簡易小学校となりました。

5. 前田尋常小学校時代（明治二十五年―明治三十年）

明治二十五年再び前田尋常小学校となりました。この年に小又小を廃し本校に合併しました。

6. 前田尋常高等小学校時代（明治三十一年―明治三十六年）

明治三十一年四月、高等科を併設して、前田尋常高等小学校となりました。この年根森田、森吉の各尋常小学校を廃して、前田小学校の分教室とし、校舎を改築し、本校躍進の基礎を固くしました。この年に庄司家よりオルガンの寄贈があり初めて唱歌指導が行われました。他に理科設備など教育内容も充実していましたが、時期には赤痢の流行、大暴風、前田部落の大火が発生し、学校も類焼のため、新屋布の福寿寺を借りての授業となりました。この時に、学校の重要書類初め一切を失いました。この時にも庄司家より学校改築費の他に、校地やオルガン、バイオリン、書籍の寄付も受けています。

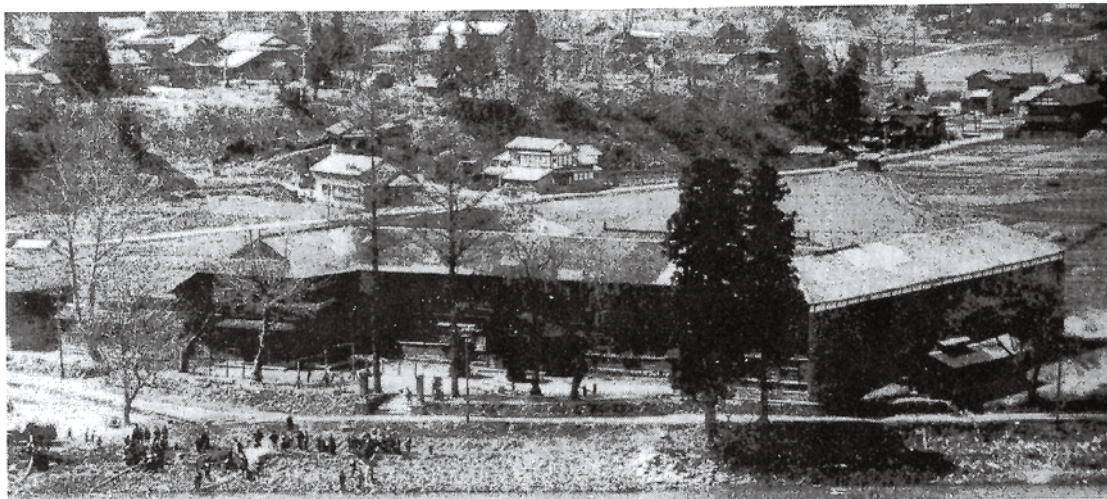
7. 仮校舎時代（明治三十六年―明治三十九年）

火災のため新屋布の福寿寺や民家を仮校舎としましたが、下川端地内に仮校舎を増築して授業を行いました。新校舎ができる四十年までの三年有半でありました。

この八幡森時代を経て、校舎は現在の下川端へ新築され、大正、昭和、平成、令和と本校の歴史と伝統は築かれていきました。

明治四十年新築校舎

・明治三十六年の大火で全校舎類焼し、
建築が急がれていました。



大正11年 体操場新築落成記念

- 大正十一年
・講堂兼体操場落成
(増設)
- 大正十四年
・南校舎二階建て落成
(増設)
- 昭和三年
・北校舎二階建て落成
(増設)
- 昭和三十八年
・円型校舎の新築にともない、
解体



校舎全景

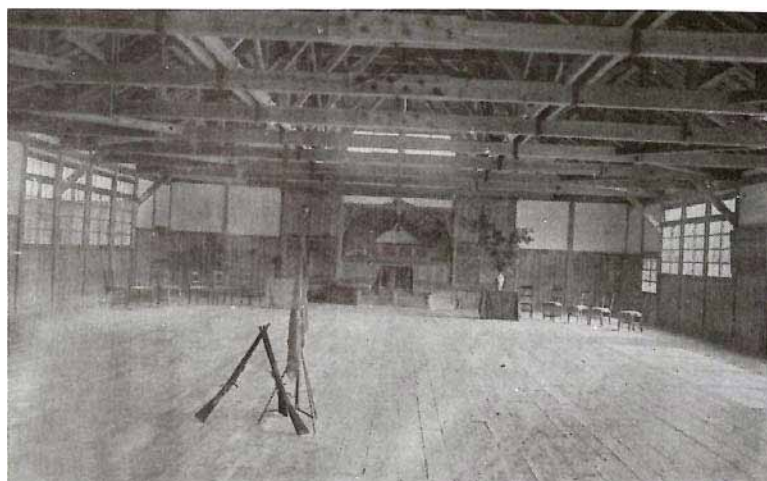


奉安殿



廊下での縄ない

授業風景

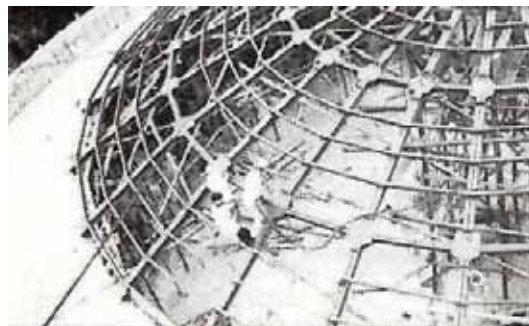


前田小学校 講堂

校舎の移り変わり

昭和三十八年新築の円型校舎

・昭和三十六年十二月八日に建築にとりかかり、
昭和三十八年十一月八日に落成しました。



新築校舎着工のようす



基礎工事



建設中の足場



完成近くの校舎



現校舎

平成十八年十月十四日
前田小学校竣工式



前田小学校・前田保育園・児童クラブが一つの棟続きになっている利用者の利便性を考慮した校舎が設計されました。

平成十七年三月二十二日
北秋田市誕生となったことから森吉町立前田小学校から北秋田市立前田小学校となりました。



平成十九年
物置小屋建設のため、旧前田公民館を解体



校舎の移り変わり



理科室



音楽室



教室



校長室



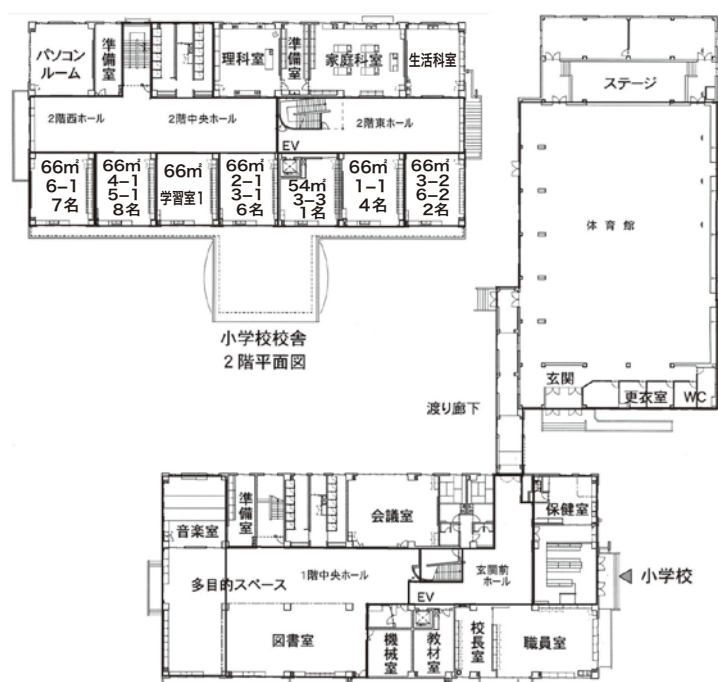
会議室



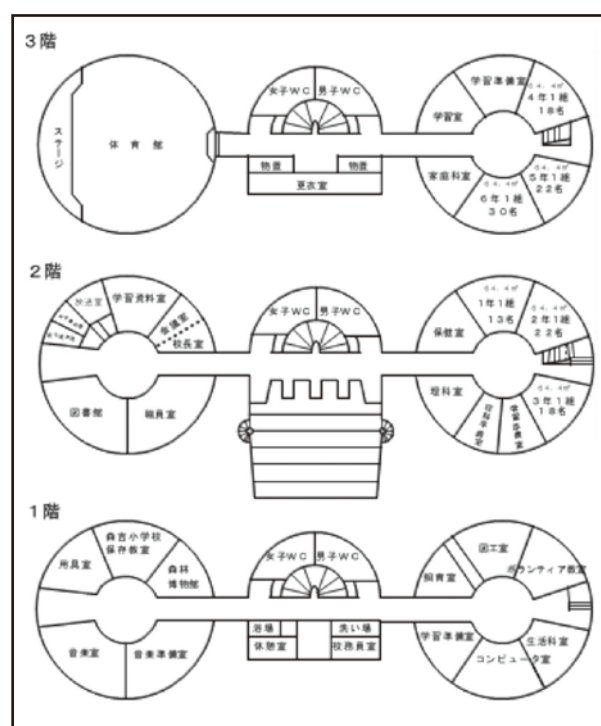
図書室



<令和5年度前田小学校教室配置図>



<平成13年度前田小学校（円型校舎）教室内地図>



前田小学校閉校に寄せて

閉校記念事業実行委員長

庄 司 満 久



窓にそびゆる前田富士に見守られ、数多くの卒業生を排出し、地域に元気を与え続けた前田小学校が今、役目を終えようとしています。

歴史を遡ると、前田小学校は様々に様相を変え、当時では珍しい円型校舎で、私は学びました。校舎を上から覗くと鉄アレイのような形で三階建て、中央に廊下、両サイドには扇状の教室と音楽室や職員室があり、その職員室の上には体育館がある、といった構造でした。当時は大人数の児童が通っていたようで、職員会議中もお構いなしで体育館で遊び、先生からよく注意されたことを憶えています。また、学校行事の運動会や修学旅行等、楽しい思い出はたくさんありましたが、特に覚えているのはスポーツ関連で、全校相撲大会では、まわし姿が恥ずかしく、まともに相撲をとれなかったことや、部活動の学童野球大会では、私のエラーが決勝点となり負けたこと、学童スキー大会は県内のスキー場を周ったことなど、四季に添ったたくさんの思い出が蘇ります。また、子どもの活躍を肴に、親たちが楽しそうに宴会を開いていたことなども、思い出に残っています。

学校を卒業し数年の歳月が流れ、再び前田小学校へ通うことになりました。今度は親として小学校に関わりをもちます。

現在の校舎に姿を変えた前田小学校は新鮮で、児童数は私が通っていた頃の半分以下になっていましたが、子どもたちはいつも大きな挨拶で、相変わらず地域に愛された学校でした。校舎の中に入るとたくさんの光りが差し雰囲気も明るく、学校が迎え入れてくれるようでした。授業風景も昔とは違い、忙しない子がおらず、楽しそうに授業を受ける姿に時代の変化を感じました。

親となり、久々に迎えた学校行事の運動会は高学年の子どもたちが小

さい子供たちを迎え入れ面倒を見る姿があり、自分の子どもそこまで成長できるか不安に思ったこともありました。また、学習発表会では六年生の活躍には目を見張り、前田小学校の先頭となり堂々と発表する姿には感動を憶えました。

学校歌にある前田富士のななかど山を十数年ぶりに登りました。所々風景に記憶がありましたが、肉体的には疲労困憊し懐かしさと年を感じました。中ノ段で歌った校歌、ドローン撮影は令和ならではの経験となりました。

部活動はスポーツ少年団と名前を変え、様々な活動が行われました。スポ少では、他校の児童と触れ合う機会が多く、様々な情報交換が行われ、同じ年でも実力の差が多くみられ、それには家庭での過ごし方が大事だと、私の時代とはまるで違い、親と子どもの関わり方の重要性を学びました。前田小学校の子どもたちは、先生方と地域の方々、他校の方々など、たくさんの人の協力により、育っているのだと感じました。

子どもの時と親の時、前田小学校に通った十五年は、私を大きく育て、たくさんの影響を受けた小学校でした。きっと前田小学校の子どもたちや、卒業した大人たちの心にも多くの影響を与えたと思います。地域の方々の心にも、たくさんの思い出を残してくれた前田小学校は閉校してしまいましたが、これまで築き上げた学校の歴史、伝統、精神を受け継ぎ、子どもたちは新たなスタートを切り、健やかに育つことを切に願っています。

過去は時々振り返り、多くの時間は未来を見つめ、希望を抱き夢へと歩み進めれば、前田小学校も喜んでくれると思います。頑張れ前田っ子。

閉校に寄せて



北秋田市長

津谷 永光

本年度をもって、北秋田市立前田小学校は、長い年月を積み重ね築いてきた歴史に幕を閉じることになりました。地域の皆様の胸中には、一言では言い表すことができない数々の思い出と惜別の念に堪えない複雑な思いがあるかと推察いたします。時勢の流れに伴う少子化の中で、子どもたちの未来と幸せを願う皆様の御理解に対し、心から敬意を表します。

本校は、明治八年に阿仁前田八幡森の宝泉寺に「前田下等小学校」として創立。幾多の変遷を経ながら、平成十八年には現在の校舎に移転、長らく地域の学校として親しまれてきました。森吉山の麓、阿仁川流域の四季折々の豊かな自然、旧家や伝統芸能等の学習素材が豊富な恵まれた環境の中、子どもたちは健やかに成長してきました。

顧みますと、平成四年には文部省指定道徳研究会の会場となり、平成十四年には文部科学省人権教育研究指定校として公開を実施、その取組と実績が認められ、大館教育振興会より「教育奨励賞」を受賞いたしました。また、相撲部においては、地域の各種大会で好成績を収め、平成九年には日米高校・小学生相撲選手権ハワイ大会出場、平成十年までに全県相撲大会に連続十回出場、平成から令和まで長きにわたり、わんぱく相撲全国大会に名を連ね、輝かしい成績で地域に元気を与えてきました。さらに、成田為三氏が作曲した本校の校歌を歌い継いだ卒業生の多くが、それぞれの立場で活躍され、社会に多大なる貢献をされておりますことは、市としても誇りであります。

本校の在校生は、目指す子ども「まなび続け未来を切り拓く力をもつ子ども・笑顔で明るくたくましい子ども・だれとでも仲よく思いやりと協働力のある子ども（まなび・たのしみ）」に向かって、様々な活動に取り組んできました。親子七角山登山、エゾタンポポプロジェクト、四季美湖畔での植樹、ヤマメの稚魚の放流等、ふるさと前田を舞台に一人一人が主役となる学習を積み重ねてきました。閉校にあたっては、運動会や学習発表会等、年間を通じて前田小学校への「ありがとう」を伝える取組を継続してきました。中でも、サマーフェスティバルで卒業生と共に照らした「前小」の火文字は、本校への愛着心と地域への深い感謝の気持ちを広く発信しました。ふるさとを大切に思う子どもたちの姿は、学校と保護者、そして地域の皆様によって育まれた教育の賜物として、統合校に受け継がれていくものと確信しております。

令和六年四月からは、米内沢小学校と統合し、新たな歴史を歩み始めることとなります。新しい時代を切り拓いていく子どもたちが、それぞれの学校が築いてきた歴史や伝統を踏まえ、地域と共に新たな校風を築いていくことを心より御期待申し上げます。北秋田市といたしましても、これまでの絆を絶やさずに手を取り合って、地域の宝である大切な子どもたちを守り育てていくことをお誓い申し上げます。

結びに、これからも地域の皆様の温かな御理解と御支援により、子どもたちの新たな学校生活が夢と希望に満ちあふれたものになることを心より御祈念申し上げ、閉校にあたってのご挨拶といたします。

百四十九年の歴史に感謝して…

北秋田市教育委員会教育長

佐藤 昭 洋



平成二十四年の出来事だったと記憶していますが、前田小学校を訪問した際に、体育館に掲げられている校歌の額を見て、成田為三先生の作曲だと知り驚きました。歌詞を見たら、♪窓にそびゆる前田富士♪とあり、当時の嶋田美香校長に「前田富士って、ここから見えるどの山ですか?」と尋ねました。そうしたら、七角山のことだと思うとの返答、「前田小学校の子どもたちは、あの山に登ったことはありませんか?」と聞いたことを思い出します。私が上小阿仁小・中学校長の時に、ふるさと教育の一環として、村民歌に歌われている姫ヶ岳登山を実施したことを思い出しての会話でした。当時、上小阿仁側から姫ヶ岳への登山道はあったのですが、木々が茂り、子どもたちを登山させるにはとても厳しい状況だったので、村の山岳会や地域おこし協力隊等、地域の方々に協力してもらい実現した行事でした。口で言うのは簡単ですが、実現させるためにはハードルが高い事業であることは分かっていたので、よもや実現するとは、その時は思いもしませんでした。

平成二十五年六月十二日、前田小学校の四・六年生が七角山登山を実施した事を聞き、拍手喝采でした。しかも、山の上から学校に向かって校歌を歌ったことも知り、当時の嶋田校長、当時教務主任であった成田彦智校長に賛辞を送るとともに、前田地区の方々の学校への献身的な協力体制に感激しました。協力してくれた地域の方々は、校長からの相談を受け、実現するまで協議を重ね、登山道の整備や子どもたちの安全確保に万全の体制で臨んだものと思われまます。あれから十一年が経過した今年の六月二日に、全校児童と保護者が一緒に登山し、今年度末で閉校

する前田小学校校舎に七角山から手を振ったと聞き、ふるさに思いを込めた行事ができたと感じしました。

さて本校は、明治八年、阿仁前田八幡森二十番地にある宝泉寺に生徒三十余名で開校しました。その後、五味堀、小又、更には根森田、森吉地区との分校や分教室などを経て、昭和二十二年に前田村立前田小学校と改称し、町村合併により昭和三十一年森吉町立前田小学校、平成十七年北秋田市立前田小学校となり、令和六年三月で開校以来百四十九年となります。その間、火災による校舎の焼失や赤痢の流行など、大変な局面が幾度もあり、その度に地域の皆さんの力で難局を乗り越えてきたことが、創立百周年記念誌の庄司卓郎氏（大正十五年度卒）による寄稿「一世紀前の前田小学校」から読み取れます。昨年度の学習発表会で、小学生や中学生も加わり披露した阿仁前田獅子踊りからは、この地域の歴史と伝統、更には地域の方々の願いが、時代を超えて伝えられてきたのだと、とても強く感じました。

昭和から平成、令和と時代が変わり、当時とはこの地域の環境も大きく変わりました。しかしながら、この地域を支えてきた人々の思い、そして、ここ前田小学校で育まれた気質は、卒業生、在校生の間で今も脈々と受け継がれていると感じています。閉校は、未来へのスタートです。先人がこれまで築き上げてくれた百四十九年の歴史に感謝し、その歴史を踏まえ、統合校では、新たな校風作りやこの地域を支える人材の育成に、地域の皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。



わが憧憬の地 前田小学校

北秋田市立前田小学校長

成田彦智

私は、本校に二度勤務させていただきましたので、それぞれの思い出を紹介させていただきます。

一度目は平成二十二年度から四年間です。校舎が完成したばかりで、当時は珍しいエアコンが設置されていることに驚きました。まだグラウンドは工事中で、グラウンドに鉄板を敷き、そこを通っていました。当初は四年生担任でした。理科で四季折々の動植物の観察をするのですが、桜が植樹される前だったため、学校近くのお宅から許可をいただき、そのお宅の庭で理科の観察をしました。放課後は女子ミニバスとノルディックスキー部を担当しました。他に野球部、相撲部があり、どの部活動も全県大会出場を目標に熱心に練習していました。その頃はクウインズ森吉で酒席が伴う会も多くありました。その際は内陸線を利用していたのですが、阿仁前田温泉駅を出発する時には子どもも保護者も大勢が駅のホームへ繰り出し、盛大に見送ってくれました。他のお客さんを前に、正直恥ずかしさもありましたが、学校と保護者、地域の皆様のおかげで余韻に浸りながら鷹巣駅に向かったものです。平成二十二年度の卒業を祝う会は東日本大震災で中止となり、学校部活動は平成二十五年が最後となりました。

二度目が今年度です。児童二十八名、職員十三名でスタートしました。年度末で閉校をむかえるため、五月一日に閉校記念事業実行委員会を立ち上げました。

閉校記念事業の第一弾として、六月三日に全校親子ななか登山を実施しました。前日から雨でしたが、昼には晴れるという予報が出ていたため、午前「全校親子レク」、午後「親子ななか登山」と日程を

変更して当日をむかえました。しかし、いざ出発しようとしても雨は昼過ぎまで降り続けました。更に、近くで熊の目撃情報もあり、パトカーに巡視してもらいながら、ななか登山に向かいました。このように不安な中で始まった登山ですが、登り始めると、やがて雨が止み、中ノ段に到着した時には太陽の日差しが差し込んでいました。そこから見た学校や雨に濡れた八幡森の木々の葉、阿仁川の川面が太陽の光を受け止め、きらめいていました。参加者全員で歌った校歌は、一人一人の心に強く刻まれたのではないのでしょうか。ななか登山、未来まで四季美湖に桜を残そうプロジェクト、前小スイミングスクール、公民館でのMステ実施など、勤務していた平成二十五年度に始まった行事が、大事に受け継がれてきたことも喜ばしい限りです。

閉校記念事業の第二弾は、八月七日のサマーフェスティバルです。大いに盛り上がった鮎のつかみ取り、幻想的な灯籠流しと火文字、迫力の（？）花火大会と、天候が不安定な中、予定していたことが全て実施できました。ママヘラアイスや鮎の塩焼きも一段とおいしく感じられた一日となりました。中学生や高校生、大学生、社会人など多くの卒業生や保護者が来校してくれたことも大変うれしいサプライズでした。保護者による手作りのサマーフェスティバルは成功裡に終わりました。

このように前田地区では、学校と保護者、地域が手を取り合い、子ども達の成長をあたかく支えています。環境は変わりますが、子ども達の豊かな学び、健やかな成長のため、今後ともお力添えをお願いいたします。

この地域で残していきたい魅力



P T A 会 長

織 山 英 行

「前田小学校」の名前が無くなってしまいう寂しさが日に日に強くなる今日この頃です。

最後のPTA会長として、成田校長先生、松岡教頭先生をはじめ、たくさんの方々に支えられながら、PTAの様々な活動に参加させていただきました。大変貴重な経験をさせていただき、前田小学校と歩んだ七年間で子どもの成長とともに多くの思い出を積み重ねることができたと思っております。深く感謝いたします。

これからは、米内沢小学校の皆さんと一緒に新たな歴史を刻んでいくこととなりますが、何事にも元氣な前田っ子の心を忘れずに持ち続け、大幅に増える新しい友達と、明るく楽しい学校生活を送ることができるよう願っております。特に、これまで先生方から繰り返し指導をいただき、前田小学校の目標のひとつにもなっている「笑顔で明るくたくましい子ども」は新しい友達と少しでも早く仲良くなるために、大切なことです。新しい仲間にもぜひ前田の良さを知ってもらいたいと願っています。

前田小学校がなくなっても、地域がなくなるわけではありません。これから、前田地区はずつと残っていくでしょう。先日、飲み会の席で「この地域の魅力は何か？」という話題になりました。この地域で残していきたい魅力について、その場では「人と自然」というありきたりな結論になってしまいましたが、その後もぼんやりと考え続けていました。そして、私なりの結論を導き出すことができました。

この地域の魅力、それは「命や自然に対する向き合い方、姿勢」です。私がこの地域で感動したことは、子どもたちにも自然と受け継がれてい

るであろう土着の文化です。例えば、ニワトリを解体することを「生やす」と言ったり、産毛を焼き切る時にもガスバーナーは決して使わずに必ず藁を使ったりすることを教えていただきました。タンポを作る時に知ったかぶって「こういうのは半殺しって言うんですよね」と言うと、おばあちゃんに「食べ物にそんな物騒な言葉を使つてはダメだよ」と叱つていただきました。この他にも、言葉の端々や行動に滲み出ている、この地域ならではの命や自然に対する真面目すぎる姿勢、これは学校があるうがなかりうが、大切に大切に受け継がなければならないものだと思身は思っています。小学校がなくなっても、また近い未来に若者たちがこの地域ならではの文化、魅力に気付き、新しい家族が増えたら、シン前田小学校の復校もあるかもしれません。限りなく薄い望みでも、私は死ぬまで希望は持ち続けたいと思います。

最後に、閉校にあたりご尽力賜りました北秋田市教育委員会の皆様、閉校記念誌に関わっていただきました皆様、そして何よりも保護者及び地域の皆様には言葉では尽くせないご尽力を賜りました。謹んでお礼申し上げます。さらに、歴代のPTAの皆さん、教職員の皆さんをはじめ、子どもたちの安心と安全をこれまでずつと見守り続けてくださった地域の皆様に対し厚くお礼を申し上げますとともに、前田小学校にいただいた今日までの温かいお気持ちを、米内沢小学校の子どもたちに対してもお寄せいただくことをお願い申し上げます。百四十九年間本当にありがとうございました。

一旦は、さようなら 前田小学校

閉校に寄せて



前田小学校後援会 会長

柴 田 裕

百四十九年の歴史をもつ前田小学校が閉校することとなり、何とも言えない気持ちで過ごしている今日このごろです。私の通った小学校は、今のグラウンドに有りました。次の校舎は、グラウンド向いに円型校舎が建立され、珍しい校舎として注目を浴びたものでした。そして今の校舎と三校舎で学び、自分の子ども達が入学し、卒業して行き、私自身もPTA、後援会等で、地域の皆様と共に、学校に関わりあえたことを感謝しております。

深く関わりあったことは、十一年前、当時の校長先生に子供たちに水泳教室をお願いしたところ、すぐに、快諾いただき、魁新報社の社員で、水泳コーチの資格のある方を招き七月の末頃、夏休みに入る前に行いました。毎年一回の教室ですが最初は水に顔をつけることもできなかった子どもも、卒業する六年生になれば、自信をもって泳いでいました。そして運動会、学習発表会等、いろいろな行事で元気をもらい、一緒に楽しんできました。前田小学校はなくなりますが、これからも子供たちを応援していきたいと思います。



前田小学校のあゆみ

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
創立	明治八年（一八七五）	上曾 多門		・三月十三日 創立 阿仁前田八幡森宝泉寺を校舎として開校 （前田下等小学校） ・小又小学校、五味堀小学校創立
一	明治九年（一八七六）	上曾 多門		
二	明治一〇年（一八七七）	欠員代理教員を置く		
三	明治一一年（一八七八）	欠員		・九月七日 森吉に巡回授業所設置
四	明治一二年（一八七九）	欠員		・十月十五日 巻淵に根森田巡回授業所設置
五	明治一三年（一八八〇）	石井修太郎		・一月一六日 全校舎新築、庄司兵藏氏寄付
六	明治一四年（一八八一）	石井修太郎		・五月四日 小学教則綱領を定め、小学校を初等中等高等に分ける
七	明治一五年（一八八二）	石井 孫吉		・小又小学校を本校とし、前田、五味堀両校を分校とする
八	明治一六年（一八八三）	大野 重任		
九	明治一七年（一八八四）	大野 重任		
一〇	明治一八年（一八八五）	黒沢 道永		・前田小学校を本校とし、小又、五味堀両校を分校とする
一一	明治一九年（一八八六）	黒沢 道永		
一二	明治二〇年（一八八七）	忍 宇太郎		・四月 根森田巡回授業所を阿仁前田小学校根森田分教室と改称
一三	明治二一年（一八八八）	忍 宇太郎		・五味堀小学校を廃校とする
一四	明治二二年（一八八九）	忍 宇太郎		・阿仁前田尋常小学校と称す
一五	明治二三年（一八九〇）	月居 謙治		・前田簡易小学校と称す
一六	明治二四年（一八九一）	月居 謙治		・尋常小学校高等小学校とする
一七	明治二五年（一八九二）	月居 謙治		
一八	明治二六年（一八九三）	石塚源五郎		・根森田、森吉分校独立、小又分校廃止
一九	明治二七年（一八九四）	小島 貞雄		・前田尋常小学校と改称
二〇	明治二八年（一八九五）	下遠 武助		
二一	明治二九年（一八九六）	下遠 武助		・補習科を三学級（三年まで）とし、裁縫、地理及び歴史を加える
二二	明治三〇年（一八九七）	下遠 武助		・四月 高等科を併設し、前田尋常高等小学校と改称
二三	明治三一年（一八九八）	下遠 武助		・前田尋常小学校を改築 庄司兵藏氏オルガン寄付 学校改築費寄付 ・根森田、森吉尋常小学校を廃止し、本校の分教室とする

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
二四	明治三二年（一八九九）	佐藤 末吉		・高等科二学級に編成する ・根森田、森吉二分教室に於いて尋常四年まで授業
二五	明治三三年（一九〇〇）	高橋 清民		・村内赤痢大流行学校休業
二六	明治三四年（一九〇一）	源間 友雄		・村内赤痢大流行学校休業
二七	明治三五年（一九〇二）	源間 友雄		・大暴風のため、学校屋根吹き飛ばされ修繕のため一ヶ月程休業
二八	明治三六年（一九〇三）	源間 友雄		・村内赤痢流行 ・九月 阿仁前田大火のため全校舎類焼 新屋布福寿寺において授業 ・村内赤痢流行
二九	明治三七年（一九〇四）	結城 朝文	四四一	・十月一日 村民より学校新築費として寄付あり
三〇	明治三八年（一九〇五）	下遠 武助	六四五	・仮校舎をつくり授業
三一	明治三九年（一九〇六）	下遠 武助	五三四	・庄司兵藏氏オルガン・物理器械を寄付 庄司信一郎氏化学器械・岩石標本を寄付
三二	明治四〇年（一九〇七）	大沼 省三	五一五	・二月十五日 校地移転 前田小学校新築落成式举行 奉安所新築
三三	明治四一年（一九〇八）	大沼 省三	五八二	・四月より尋常科を六年に編成
三四	明治四二年（一九〇九）	大沼 省三	五四九	・皇太子殿下行啓記念事業として記念文庫を設ける
三五	明治四三年（一九一〇）	小林 誠治	六五七	・十月二十日 森吉尋常小学校を独立 ・六月十一日 森吉分教室を独立して尋常小学校とする ・桂瀬臨時教育所創設
三六	明治四四年（一九一一）	小林 誠治	五七〇	
三七	明治四五年・大正元年（一九一二）	小林 誠治	五三九	
三八	大正二年（一九一三）	斎藤 軍吉	五四三	・石川理紀之助翁来校
三九	大正三年（一九一四）	斎藤 軍吉	五七七	
四〇	大正四年（一九一五）	木村 文助	五八六	
四一	大正五年（一九一六）	木村 文助	五七三	
四二	大正六年（一九一七）	藤嶋 勇太郎	五七五	
四三	大正七年（一九一八）	藤嶋 勇太郎	六〇四	・阿仁川大洪水で実習地流失
四四	大正八年（一九一九）	高橋 丈一	六二二	
四五	大正九年（一九二〇）	高橋 丈一	六三七	・前田農業補修学校設置
四六	大正一〇年（一九二一）	高橋 丈一	六五六	・六月三日 増築工事竣工
四七	大正一一年（一九二二）	高橋 丈一	六五九	・一月二十日 講堂兼体操場新築落成 庄司兵藏氏寄付 ・学制五十年式举行

創立	年（西暦）	学校長		本校のあゆみ
四八	大正一二年（一九二三）	高橋 丈一	六八〇	・十月二十日 南校舎百四十七坪増築 ・児童文庫室設置
四九	大正一三年（一九二四）	田中 節三	六七九	
五〇	大正一四年（一九二五）	田中 節三	六九〇	・世界児童親善会よりアメリカ人形おくられる ・前田少年赤十字団創立 ・十一月十二日 北校舎百六十七坪増築 竣工祝賀式挙行 ・校旗樹立式挙行 校歌制定 ・ドイツ製のグランドピアノ一台庄司兵藏氏寄贈 ・岩館海岸に一週間虚弱児保養所開催 学校歯科医をおく。 ・図書室を設置 ・十月 欠食児童に昼食を給与する ・庄司兵藏氏貝類標本を寄付 家事室を設置 ・創立六十周年記念式挙行 ・六十周年記念として庄司兵藏氏大百科二十七冊寄贈 ・阿仁鉄道前田村まで開通 本校にて開通式を行う ・庄司兵藏氏図書百十冊寄贈
五一	大正一五年・昭和元年（一九二六）	田中 節三	六七七	
五二	昭和二年（一九二七）	小林佐之助	七二二	・食料増産のため桂坂奥地の開墾で汗水を流す ・十月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・交通道徳実践隊として秋田駅頭に出動する ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
五三	昭和三年（一九二八）	小林佐之助	七四二	
五四	昭和四年（一九二九）	小林佐之助	七七五	・四月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
五五	昭和五年（一九三〇）	高橋六治郎	七九二	
五六	昭和六年（一九三一）	高橋六治郎	七九〇	・四月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
五七	昭和七年（一九三二）	高橋六治郎	七九三	
五八	昭和八年（一九三三）	水澤康太郎	七九六	・四月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
五九	昭和九年（一九三四）	佐藤 正	八〇五	
六〇	昭和一〇年（一九三五）	佐藤 正	八二八	・四月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
六一	昭和一一年（一九三六）	佐藤 正	八四二	
六二	昭和一二一年（一九三七）	齊藤 修助	八六一	・四月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
六三	昭和一三年（一九三八）	齊藤 修助	八五八	
六四	昭和一四年（一九三九）	齊藤 修助	記録なし	・四月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
六五	昭和一五年（一九四〇）	齊藤 修助	記録なし	
六六	昭和一六年（一九四一）	齊藤 修助	八一九	・四月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
六七	昭和一七年（一九四二）	福岡理喜朗	九三一	
六八	昭和一八年（一九四三）	福岡理喜朗	九五五	・四月十一日 三島通陽氏前田少年団発団式に来校 ・四月一日 前田村立前田国民学校と改称（太平洋戦争に突入） ・県主催特別総合教育視察校として指定、好評を受ける
六九	昭和一九年（一九四四）	福岡理喜朗	九〇三	

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
七〇	昭和二〇年（一九四五）	福岡理喜朗	一、〇三〇	・ 東京都より疎開児童三十八名修養室に収容 ・ 理科教育査察を受ける
七一	昭和二十一年（一九四六）	福島吉五郎	一、〇一八	・ 米軍将校校調査に来校
七二	昭和二十二年（一九四七）	佐藤 忠治	八二九	・ 四月一日 前田村立前田小学校と改称 中学校と校舎併用する ・ 五日制授業実施
七三	昭和二十三年（一九四八）	八木鱗三郎	八三三	・ 十月二日 前田小学校 P T A 結成 健康教育研究会開催
七四	昭和二十四年（一九四九）	八木鱗三郎	八四八	
七五	昭和二十五年（一九五〇）	八木鱗三郎	八七九	
七六	昭和二十六年（一九五一）	八木鱗三郎	八七二	・ 前田中学校独立校舎新築移転する
七七	昭和二十七年（一九五二）	高橋富太郎	八五三	・ 六日制授業に戻る ・ 七月十四日 学校図書館及び放送室開設 学校図書館後援会設置 ・ 映像室設置 グラウンドにバックネット建設 ・ 自動式電気水揚ポンプ取り付け ・ 図書館教育研究会開催
七八	昭和二十八年（一九五三）	高橋富太郎	八四八	・ 体育遊戯施設 ブランコ 鉄棒 シーソー ベンチ設置 ・ 足洗場と体操場にステージ新設 クラブ活動実施
七九	昭和二十九年（一九五四）	高橋富太郎	九三八	・ 六月九日 秋田県学校図書館研究校に指名される
八十	昭和三十〇年（一九五五）	高橋 茂明	八八四	・ 十一月三日 創立八十周年記念式典を挙行 ・ 八十周年記念ピアノ一台設置
八一	昭和三十一年（一九五六）	高橋 茂明	八九七	・ 図書館後援会を廃して P T A 図書部をおく
八二	昭和三十二年（一九五七）	高橋 茂明	九二二	・ 九月十日 町村合併により森吉町立前田小学校と改称
八三	昭和三十三年（一九五八）	高橋 茂明	九八二	・ P T A 創立十周年記念式典挙行
八四	昭和三十四年（一九五九）	高橋 茂明	一、〇四六	・ 根森田分校廃止 本校に統合し分室となる ・ 根森田分室八十周年記念式典を挙行
八五	昭和三十五年（一九六〇）	高橋 茂明	一、〇〇三	・ 中川原にグラウンド建設 道徳教育研究会開催
八六	昭和三十六年（一九六一）	安保四方治	九七二	・ 新校舎工事に着手
八七	昭和三十七年（一九六二）	安保四方治	九六四	・ 全国唱歌ラジオコンクール県大会に初の郡市代表として出場（優良校）
八八	昭和三十八年（一九六三）	安保四方治	一、〇六六	・ 十一月八日 円形新校舎落成記念式典並びに創立九十周年記念式典を挙行 ・ グランドピアノ、塩崎貢逸氏より寄贈 ・ N H K 全国学校音楽コンクール合唱で大館・北秋田地区予選優勝校となる

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
八九 九〇	昭和三九年（一九六四） 昭和四〇年（一九六五）	佐林 幸吉 佐林 幸吉	八四六 七六七	・ 四月一日 根森田分室廃止 実質統合する ・ N H K 全国学校音楽コンクール合唱県大会で学校奨励賞 ・ N H K 学校放送研究委嘱校公開研究会
九一 九二	昭和四一年（一九六六） 昭和四二年（一九六七）	佐林 幸吉 朝日 了回	七二五 六七六	・ 秋田県学校音楽教育研究会が開催
九三 九四	昭和四三年（一九六八） 昭和四四年（一九六九）	朝日 了回 朝日 了回	六〇九 五七七	・ 七月一日 完全給食始まる ・ 七月二十六日 プール落成式とグラウンドの拡張
九五	昭和四五年（一九七〇）	朝日 了回	五四四	・ 校門除幕式举行（桜庭陸一氏寄贈） ・ 九月五日 土俵完成
九六 九七	昭和四六年（一九七一） 昭和四七年（一九七二）	土佐隆二郎 土佐隆二郎	五〇九 四八六	・ 学校無人化 ・ 水害により臨時休校
九八 九九	昭和四八年（一九七三） 昭和四九年（一九七四）	松橋修一郎 松橋修一郎	四四八 四四三	・ 阿仁部球技大会野球優勝 ・ 郡市新人相撲大会優勝
一〇〇	昭和五〇年（一九七五）	千葉 正彦	四四三	・ 九月十三日 創立百周年記念式典及び記念行事を行う （学区内縦走駅伝・親子植林実施）
一〇一	昭和五一年（一九七六）	千葉 正彦	二二九	・ 二月九日 県教委推進校指定「保健組織活動」の研究発表をする ・ 全県学童相撲大会団体優勝 個人の部一位、二位
一〇二	昭和五二年（一九七七）	佐藤 富雄	三八三	・ 阿仁部球技大会野球優勝 ・ 十月十二日 鷹阿推進校「保健体育」の研究発表をする
一〇三 一〇四	昭和五三年（一九七八） 昭和五四年（一九七九）	佐藤 富雄 佐藤 富雄	三六八 三五四	・ 阿仁部球技大会野球優勝
一〇五	昭和五五年（一九八〇）	細田松太郎	三二四	・ 郡市学校給食研究会会場の委嘱を受け、公開研究会を開催 ・ 七月三日 相撲場完成
一〇六 一〇七	昭和五六年（一九八一） 昭和五七年（一九八二）	細田松太郎 細田松太郎	三〇七 二八九	・ 八月二十二日 校内全面塗装工事完了 ・ 九月二十二日 鷹阿推進校A群（国・社・算・理）の公開研究会 ・ 十二月十日 焼山スキー場ヒュッテ完成
一〇八 一〇九	昭和五八年（一九八三） 昭和五九年（一九八四）	細田松太郎 三沢 史郎	二七七 二七二	・ 十一月二十日 日本標準教育賞児童作文、詩青空文庫感想文の部で学校賞 ・ スノーモービル、カッター寄贈

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
一一〇	昭和六〇年（一九八五）	三沢 史郎	二五七	・七月十六日 プール浄化装置更新 ・八月二十日 体育館屋根全面改修 ・九月十五日 郡市新入相撲大会団体優勝 個人一、二、三位 ・十一月三十日 焼山スキー場拡張 ロープ張り替え ・五、十、一月 創立百十周年記念行事開催 ・校舎照明教室灯の増設
一一一	昭和六一年（一九八六）	佐藤昭二郎	二四四	・二月二日 郡市小学校スキー大会男子総合優勝 リレー優勝 ・六月二十九日 郡市相撲大会団体優勝 個人優勝 ・七月二十日 全県小学校陸上競技大会 百M優勝（新記録 十二秒四） ・七月二十七日 阿仁部小学校野球大会優勝 ・八月九日 全県学童相撲大会団体優勝 東北大会出場 ・八月三十日 全国少年少女陸上競技大会 百M出場（十二秒七 五位） ・二月一日 郡市小学校スキー大会 男子総合優勝 各種大会優勝多数 ・六月二十七日 郡市相撲大会準優勝 全県大会出場 ・十一月二十七日 学校水道高架槽更新 ・九月十七日 グラウンド改修工事竣工記念体育会 ・二月五日 郡市小学校スキー大会総合一位 各種大会優勝多数 ・十一月 学校林除伐（百周年記念植樹） ・七月 郡市陸上長距離 アベック優勝 ・トランペット鼓隊創設 ・プール全面改修 ・五月 グラウンドフェンス改修 国旗掲揚塔改修 ・九月二十八日、台風一九号襲来 臨時休業 校地内の樹木倒木窓ガラス破損等被害甚大 ・七月二十六日 わんぱく相撲全国大会出場 ・十月八日 文部省指定道徳教育研究会を本校で行う ・十月十一日 中国鳳城市視察団が本校を訪問する ・十月三十日 成田為三生誕百周年記念演奏会に参加 ・七月三十一日 わんぱく相撲全国大会出場 ・七月三十一日 わんぱく相撲全国大会出場 ・八月六日 全県相撲大会を本校土俵で開く ・十月二十九日 創立百二十周年記念式典並びに祝賀会
一一二	昭和六二年（一九八七）	佐藤昭二郎	二二七	
一一三	昭和六三年（一九八八）	小林 実	二一三	
一一四	昭和六四年・平成元年（一九八九）	小林 実	一九六	
一一五	平成二年（一九九〇）	湊 慶太郎	一八八	
一一六	平成三年（一九九一）	湊 慶太郎	一七四	
一一七	平成四年（一九九二）	湊 慶太郎	一七六	
一一八	平成五年（一九九三）	山城 良治	一九一	
一一九	平成六年（一九九四）	山城 良治	一五二	
一二〇	平成七年（一九九五）	山城 良治	一四二	

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
一一二	平成八年（一九九六）	奥田 稔	一二六	・わんぱく相撲全国大会出場二名 ・中国鳳城市友好訪問児童四名
一二二	平成九年（一九九七）	奥田 稔	一二〇	・三月十三日 日米高校・小学生相撲選手権ハワイ大会出場 ・七月二十七日 わんぱく相撲全国大会出場
一二三	平成一〇年（一九九八）	木元 正一	一一八	・九月十日 中友好交流会 視察団本校を訪問する（四名） ・八月五日 森吉町が日本ジャパンポリ大会の会場となり、前小体育館も宿泊場所となる（体育館の屋根の全面改修） ・八月六日 日中友好交流会・中国の児童六名と全校児童で歓迎交流会開催 ・八月二十日 全県相撲大会で準優勝し、東北大会出場 ・全県学童相撲大会に連続十回出場で表彰される
一二四	平成一一年（一九九九）	木元 正一	一二四	・七月十四日 わくわくドリーム号完成・新聞・TVで紹介される
一二五	平成一二年（二〇〇〇）	木元 正一	一一〇	・郡市新入相撲大会優勝 緑の少年団全国大会 宿泊所となる
一二六	平成一三年（二〇〇一）	湊 一彦	一二七	・ふるさとドリーム実践交流会会場となる（獅子踊り発表） ・郡市相撲大会優勝 全県選抜相撲大会優勝
一二七	平成一四年（二〇〇二）	湊 一彦	一三二	・六月二日 阿仁部小学校野球大会優勝 ・七月二十八日 わんぱく相撲全国大会出場 ・九月二十七日 文部科学省人権教育研究指定公開 ・大館北秋教育振興会「教育奨励賞」受賞
一二八	平成一五年（二〇〇三）	湊 一彦	一三三	・七月 わんぱく相撲全国大会出場
一二九	平成一六年（二〇〇四）	三澤 俊明	一三〇	・七月 郡市相撲大会優勝 全県理科研究発表会 自然科学部参加
一三〇	平成一七年（二〇〇五）	三澤 俊明	一二七	・六月十一日 北秋田ミニバスケットボール大会優勝 ・六月二十六日 成田杯ミニバスケットボール大会準優勝
一三一	平成一八年（二〇〇六）	三澤 俊明	一二七	・九月四日 中川杯スポ少野球大会準優勝 ・九月二十八日 前田小学校新築本体工事着手 ・六月四日 北秋田市ミニバスケットボール大会優勝 ・六月二十五日 成田杯ミニバスケットボール大会優勝 ・九月十七日 大館北秋田新人相撲大会優勝 ・九月十九日 前田小学校本体工事完成 ・九月三十日 旧校舎から新校舎への移転作業 ・十月十四日 前田小学校竣工式 ・十月二十三日 新校舎での授業開始

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
一三二	平成一九年（二〇〇七）	三澤 俊明	一〇四	- 十一月四日 大館北秋田ミニバスケットボール大会優勝 - 六月三日 北秋田市・上小阿仁村小学校球技大会女子ミニバス大会優勝 - 六月二十四日 大館北秋田小学校相撲大会優勝 - 七月二十二日 全県学童相撲大会優勝（二十一年ぶり） - 八月二十日 東北学童相撲大会第三位 - 九月二日 秋田若杉国体デモスポ子ども相撲優勝 - 九月十六日 大館北秋田小学校新人相撲大会優勝 - 九月十七日 集中豪雨により物置小屋・スノーモービル流失 - 十一月三日 大館北秋田女子ミニバス大会準優勝（県大会出場） - 三月十四日 物置小屋竣工 - 六月十五日 全国植樹祭に六年生参加 - 六月二十二日 大館北秋田小学校相撲大会団体優勝 - 八月三日 わんぱく相撲全国大会出場 - 十一月一日 大館北秋田ミニバスケットボール大会優勝（県大会出場） - 二月十六日 豪雨災害復旧グラウンド工事に係わり、校地内立木伐採開始 - 四月一日 まなびふれあい充実事業、専門性を生かした指導の充実 - 十一月十六日 学校前保育園協への新通学路により、登下校開始 - 四月一日 まなびふれあい充実事業、二年目 - 四月一日 全国学力・学習状況調査の結果を活用した調査研究 - 四月一日 学校支援地域本部事業 - 九月三日 中川杯東北学童軟式野球新人北秋田大会初優勝（全県大会出場） - 六月二日 全日本学童軟式野球北秋田大会初優勝（全県大会出場） - 七月二十二日 JA共済学童野球あきた北央予選大会初優勝（全県大会出場）
一三三	平成二〇年（二〇〇八）	原田 敏美	九三	- 七月五日 大館北秋田二区小学校野球大会優勝（全県大会出場） - 八月三日 わんぱく相撲全国大会出場 - 七月 大館北秋田小学校陸上競技大会男子ソフトボール投げ優勝 - 十一月十日 校舎の写真の記念・記念フォルダー全戸配布 - 六月四日 大館北秋田少年少女陸上競技大会女子四百Mリレー優勝 - 七月三十日 わんぱく相撲全国大会出場（全県大会出場三位）
一三四	平成二一年（二〇〇九）	原田 敏美	八四	
一三五	平成二二年（二〇一〇）	高橋 謙介	八一	
一三六	平成二三年（二〇一一）	高橋 謙介	六七	
一三七	平成二四年（二〇一二）	嶋田 美香	六七	
一三八	平成二五年（二〇一三）	嶋田 美香	六九	
一三九	平成二六年（二〇一四）	嶋田 美香	六九	
一四〇	平成二七年（二〇一五）	山本 英幸	六六	
一四一	平成二八年（二〇一六）	山本 英幸	五五	
一四二	平成二九年（二〇一七）	木下 隆	五七	

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
一四三	平成三〇年（二〇一八）	木下 隆	五〇	・四月十四日 部活動全スポ少化へ移行 ・五月十三日 前田保育園・前田小学校第一回合同運動会 ・七月二十九日 わんぱく相撲全国大会出場 ・五月二十九日 県「いのちの教育あつたエリア事業」で森吉地区小・中学校連携 ・八月四日 わんぱく相撲全国大会出場 ・八月十八日 東北学童相撲大会 団体三位 ・十二月八日 秋田県相撲連盟奨励賞受賞（団体六位） ・二月二日 白鵬杯（国技館）八名参加 ・二月七日 北秋田市スポーツ賞栄光受賞（相撲団体六名） ・三月一日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三月一日から ・三月十九日までを臨時休業日とする ・四月一日 学校運営協議会が設置される ・四月二十七日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により、 ・五月六日までを再度臨時休業日とする。 ・五月二十四日 新型コロナウイルス感染症対策として、前田保育園・前田小学校合同運動会を午前日程で行う ・九月四日 北秋田市教育センターB群授業校（一・二年複式） ・十月二十八日 新型コロナウイルス感染症予防のため、前田小学校単独での修学旅行 ・二複式学級 ・六月二十九日 全校ふるさと探訪開始（森吉地区） ・三月十八日 米内沢小への統合が意見交換会で承認 ・四月十六日 米内沢小学校と前田小学校の統合の方向性について、市教育委員会説明（PTA全体会） ・五月二十四日 田んぼアート参加 ・六月二十七日 未来まで桜を残そうプロジェクト2022、参加 ・七月二十七日 米内沢小学校と前田小学校の統合に向けた説明会・意見交換会（前田地区）（前田公民館） ・九月二日 米内沢小学校と前田小学校の統合に向けた説明会・意見交換会（米内沢地区） ・十月二十六日 米内沢小学校と前田小学校の統合に向けた説明会・意見交換会（前田地区）（前田公民館）
一四四	平成三一・令和元年（二〇一九）	山田 理	四七	
一四五	令和二年（二〇二〇）	山田 理	三七	
一四六	令和三年（二〇二一）	中村 修	三四	
一四七	令和四年（二〇二二）	中村 修	三三	

創立	年（西暦）	学校長	児童数	本校のあゆみ
一四八	令和五年（二〇二三）	成田 彦智	二八	・ 全校ふるさと探訪Ⅰ（前田地区）・Ⅱ（阿仁地区） 実施 ・ 一月六日 北秋田市教育センター所員発表会（前田小学校） ・ 二月二日 森吉地区小・中学校の再編に関する意見交換会（前田小学校・前田保育園） ・ 二月十七日 前田小学校・前田保育園PTA主催合同保護者会（前田地区）（前田公民館） ・ 三月十三日 前田小・米内沢小の統合に関する説明会 ・ 三月二十七日 森吉地区小学校二校の統合に向けた説明会（森吉コミュニティセンター） ・ 四月二十六日 議会にて、前田小学校を閉校し、令和六年度に米内沢小学校と統合することが可決される ・ 五月一日 第一回閉校記念事業実行委員会を立ち上げる ・ 五月二十三日 田んぼアート参加 ・ 五月三十日 米内沢小学校・前田小学校統合合同会議 ・ 六月三日 全校親子ななか登山・親子レク ・ 六月十九日 米内沢小全校交流学習「歌声集会」参加 ・ 六月二十二日 未来まで桜を残そうプロジェクト2023、参加 ・ 六月二十七日 米内沢小との全校交流学習 ・ 六月二十九日 全校ふるさと探訪Ⅰ（前田地区） ・ 七月五日 学校統合に向けた説明会（市教育委員会）（PTA全体会） ・ 七月十九日 ふるさと探訪Ⅱ（合川編） ・ 八月七日 閉校記念事業「サマーフェスティバル」を実施 ・ 九月二十三日 大北PTA連合会より学校賞を受ける ・ 十一月十日 北秋田社会福祉協議会より「奉仕功労団体感謝状」をいただく ・ 十一月十八日 閉校記念式典を実施 ・ （閉校記念実行委員会実行委員会計十回実施） ・ （閉校記念実行委員会記念誌部会計八回実施） ・ （前田小学校後援会臨時役員会計三回実施） ・ 十一月二十二日 米内沢小との全校交流学習「ダックスムーンコンサート」 ・ 十二月八日 学校統合に向けた説明会（市教育委員会）（PTA全体会） ・ 三月十三日 閉校記念日（創立百四十九年） ・ 三月二十一日 閉校式・解散式 ・ 三月三十一日 北秋田市立前田小学校閉校
一四九	令和六年（二〇二四）			卒業者数 八九三九名

歴代校長

初代	上曾 多門
二代	石井修太郎
三代	石井 孫吉
四代	大野 重任
五代	黒沢 道永
六代	忍 宇太郎
七代	月居 謙治
八代	石塚源五郎
九代	小島 貞雄
十代	下遠 武助
十一代	佐藤 末吉
十二代	高橋 清民
十三代	源間 友雄
十四代	結城 朝文
十五代	下遠 武助
十六代	大沼 省三
十七代	小林 誠治
十八代	斎藤 軍吉

十九代	木村 文助
二十代	藤島勇太郎
二十一代	高橋 丈一
二十二代	田中 節三
二十三代	小林佐之助
二十四代	高橋六治郎
二十五代	水澤康太郎
二十六代	佐藤 正
二十七代	齊藤 修助
二十八代	福岡理喜朗
二十九代	福島吉五郎
三十代	佐藤 忠治
三十一代	八木鱗三郎
三十二代	高橋富太郎
三十三代	高橋 茂明
三十四代	安保四方治
三十五代	佐林 幸吉
三十六代	朝日 了回
三十七代	土佐隆二郎
三十八代	松橋修一郎

三十九代	千葉 正彦
四十代	佐藤 富雄
四十一代	細田松太郎
四十二代	三沢 史郎
四十三代	佐藤昭二郎
四十四代	小林 実
四十五代	湊 慶太郎
四十六代	山城 良治
四十七代	奥田 稔
四十八代	木元 正一
四十九代	湊 一彦
五十代	三澤 俊明
五十一代	原田 敏美
五十二代	高橋 謙介
五十三代	嶋田 美香
五十四代	山本 英幸
五十五代	木下 隆
五十六代	山田 理
五十七代	中村 修
五十八代	成田 彦智





前小よ 永遠とわにあれ

第五十代校長

三澤 俊明

在任中に「校舎の移転」という大事業がありました。また、思いもかけなかつた「水害による災難」もありました。地域の皆様にとつても大きな出来事だつたと考えます。ご苦労もされたと思います。これらに關しては、多くの方々が書きになることと思いますので、私は、共に学び、ふれ合うことができた、かわいい子ども達の思い出を中心に書こうと思います。

前田小には、平成十六年から四年間、勤務させて頂きました。長かつた教員生活の、最後の勤務校ということでもあります。それだけに、思い深く、忘れ難い学校なのです。

何よりも、子ども達がすばらしかつた。素直で明るく、元気で意欲的な子ども達でした。

その子ども達の学習や活動等の様子から。

まず低学年から。一時間目に各学級を巡回していました。低学年の教室に入ると大変です。

校長が来たとかうると大き過ぎ、「校長先生見て」とノートを持って寄ってきます。「間違つてない」「字、上手でしょう」と大騒ぎになります。見てほしいんです。ほめてもらいたいんですね。その気持ち、かわいいです。

中高学年は大したものです。「そろそろだ」とわかるんですね。教室に入ると、姿勢を正し黒板をしつかり見て、学習しています。つい、「そんなに立派にしないでいいんだよ。」と言いたくなります。そこをぐつと我慢です。この子ども達がこんなに真剣に学習している気持ちを感じてはならない。よけいなことを言つてはならないと、口を噤んだものです。

最後に、お世話になった皆々様に、お礼を申し上げたいと思います。まず、前田小で教員生活を終えることができたことに感謝！子ども達には、みんな色々頑張つたよと拍手！先生方には、協力・応援ありがとう！と。地域の皆様には、見守つて戴き感謝！感謝！と。最後に、退任式で、「校長先生、やめないでえ」と大きな声で、泣きながら叫んでくれた女の子に「ありがとう」と。感謝を申し上げ、終わりと致します。



教員生活最後の二年

第五十一代校長

原田 敏美

旧森吉町内で順に森小、浦小、米小と勤務し前田小学校が最後の勤務地となりました。平成二十年の年でした。かつてはたくさんの方が見学に訪れた有名な円型校舎はすでに取り壊され、しだれ桜とイチヨウの木だけが取り残されていました。今では酷暑にはありがたい冷房設備の整つた新校舎への勤務でした。その年は全校児童九十三名でした。次の年は八十四名と毎年人数は減る一方でした。

「乗つて残そう内陸線」の呼びかけに比べ残りの二年間を汽車通勤をしようと心に決めました。運動不足になりやすい校長職・健康づくりも兼ねてのウォーキングです。汽車通勤駅から学校まで歩きなど車通勤とは違つた景色が目に入るものです。こんな人通りの中で普段見ることのない野生の動物などを見ることがありました。子どもたちの登校時間より少しはやい時間に到着します。みんなが通る途中の通路で子どもたち朝の挨拶をすることにしました。ひとりひとりの顔写真を片手にもつて顔と名前を覚えることにしました。そして今日の調子を見るのも一日の始まりの始まりでした。

北秋田市になって、市内のほとんど全ての学校が参加する音楽祭が続けられていました。北秋田市出身の成田為三先生の作曲された曲を歌うというものでした。幸いに前田小の校歌は成田為三作曲の校歌です。全校児童がバスで文化会館へ行き、元気に歌い参加しました。その校歌はどうなるのでしょうか。

前田駅前地区に水害があり、堤防の工事が始まっていました。それにとりなつて通学路も工事の対象となり、民家の間から新たに道をつくつて校舎につながるようになりました。それと同時にグラウンドの整備や駐車場確保など公民館の移転などもありました。橋の建替もあり、通勤途中毎日橋げたを造るのを覗いていました。

退職後何度か通ることがありとてもよくなつていました。もう十三年も経つたかと思うと感慨深いものがあります。



思い出深い 前田小学校勤務 第五十二代校長 高橋 謙 介

前田小学校閉校の便りに、時の流れとは言え、感無量の思いがあります。私は平成二十二年四月から新任校長としての二年間を前田小学校で過ごさせていただきました。

中学校現場だけの私にとって、教職員生活初めての小学校勤務は新鮮で、毎日が夢のように過ぎていきました。今も目を閉じると、八十一名の児童と触れ合うことを何よりも生き甲斐に感じたあの頃が鮮やかに蘇ってきます。毎時間どこかの学年の教室を訪れ、放課後は居残りの児童と宿題を一緒にやるという日々を過ごし、校長室はいつも空っぽ。教頭先生からは「用事のあるときに不在は困る」とよく注意されたものでした。

ある日、「私たちの小学校は、新しい校長先生が（異動して）来ても、いつもその年に辞める（退職される）校長先生しか来ない学校なんです。今度の校長先生はどうですか。」と聞かれたことがあります。年寄りの校長先生しか来ない学校というイメージを子どもたちはもっていたのでしよう。「私は辞めない校長先生ですよ。」と答えると、後日励ましの手紙を何通ももらいました。その素朴さと純粹さに不覚の涙を禁じ得ませんでした。

保育園や児童館（学童保育）が渡り廊下で繋がっていた前田小学校は、多目的ホールをすべての学級が共有する廊下のない広く大きな教育施設を思わせる真新しい建物でした。

当時の十五名の教職員には「むずかしいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことをゆかいに、ゆかいなことをまじめに！」を合言葉に実践していただきました。放課後遅くまで教材研究をする妥協しない先生方の姿に頭が下がる思いでした。

そして忘れられない思い出に、学校を支えてくださった何事にも協力的な保護者の皆さんのあたたかさがあります。子どもを送迎の際、窓越しに毎日かけてくださる声にどれ程助けられたことでしょう。お陰様で地域に根ざした学校経営が実りあるものになりました。



心のふるさと 前田小学校の思い出 第五十三代校長 嶋田 美 香

新米校長として前田小に赴任したのは平成二十四年。懐かしい三年間の思い出はたくさんありますが、特に地域の方と一緒に活動したことが思い出されます。

なかだ山登山は、学校支援地域本部事業コーディネートに加賀さんの「なかだ山は校歌にも出てくるし、子どもたちと登ってみないか？」という提案から実現しました。地元の自治会に山道の下刈りをお願いしたり、山岳会は急斜面にロープを設置したり等地域の方に協力してもらい、安全に登ることができました。頂上で校舎に向かって大きな声で呼びかけたこと、校歌を歌ったことは何よりの思い出です。下山するとご褒美の餅も用意されていました。見晴しがよくなるように枝を落とした所には、翌年、苗木と水を持参して子どもたちと一緒に植樹。自然保護も考えさせた意義のある体験になりました。

Mステは、十二月の全校お楽しみ会のような児童会行事でした。私は明るく特技を披露したり温かく認めて拍手したりする子どもたちの姿に感激し、これを皆さんにも見てもらおうと、翌年は新築した前田公民館での実施を提案しました。実現に向けて子どもたちの自主性を大切に、事前指導や会場準備に力を尽くした職員にも感謝しました。当日は学校とは違う場所で生き生きと活躍する子ども達を、いとおしそうに楽しく見ている地域の方の笑顔が今でも心に残っています。

スポーツへの過渡期だった部活動では、勝ち負けよりもあきらめない心や前向きな姿勢を育てることを大事にして、保護者や地域の方から惜しみない協力をいただきました。二度の学童野球大会優勝と全県出場、毎年のように相撲部全県出場、ミニバスやスキー部の大活躍等様々な大会を通して子どもたちの成長を共に喜ぶことができたと思っています。

この他にも見守り隊との交通安全教室、相撲協会に協力していただいた校内相撲大会、美しい柴桜や風穴の見学、四季美湖の桜植樹、田んぼアートの、前田地区での職業体験、夏休みの勉強会や先輩に学ぶ講習会等、地域の方と一緒に様々な取り組みをすることができました。

こんな良い学校が閉校することはとても残念ですが、子どもたちには前田小学校の思い出を心のふるさととして、勇気をもって新しい道に進んでほしいと思います。



前田富士

第五十四代校長

山本 英幸

昨年の大阿仁小に続き、二年連続で閉校記念誌の原稿を書くことになろうとは思っていませんでした。逆らうことのできない時代の流れとはいえ、お世話になった学校の閉校は何とも寂しい限りです。

私が前田小にお世話になったのは平成二十七年から二年間でした。純朴でめんこい子どもたち、指導力十分で頼りがい抜群の先生方、物心両面で学校を支え、応援してくれる地域の方々……。楽しく充実した日々を過ごすことができました。中でも強く印象に残っていることを紹介します。

一つは「ななかど山」です。言わずと知れた前田地区のシンボル。「前田富士」とも称されるその雄々しい姿を朝な夕なに眺めては元氣と勇氣をもらっていました。一時期中断していた伝統の登山は前任の嶋田校長先生が復活してくれました。勤務二年目には全校で挑戦することにし、心配な低学年の子を高学年が励ましなが、全員で頂上を目指しました。中腹の頂からふるさとを眺めて校歌を歌ったり、下前田地区の方々が差し入れてくれた力餅をごちそうになったりと、ふるさと前田の魅力を堪能する素敵なお一日でした。

もう一つは「三六五日の紙飛行機」です。AKB48の大ヒット曲ですが、その年の学習発表会の全校合唱曲でもありました。前田小の子どもたちは歌の上手な子が多いと感じていましたが、練習の時から素晴らしい歌声を響かせてくれていました。本番もちろん大成功、体育館一杯に拍手が鳴り響きました。浜辺の歌音楽祭にも全校で参加し、保護者の方々とともに晴れ姿を喜びました。

「その距離を競うより、どこを飛んだか、どう飛んだのか、それが一番大切なんだ」今でも私の大好きな一曲です。

長年にわたって数多の子どもたちを育てた前田小学校。たとえば学校は閉校しても、これから地域の子どもたちを温かく見守ってくれることを願っています。



歌い継がれる 故郷の原風景

第五十五代校長

木下 隆

平成二十九年六月十六日、前田小学校体育館。全校児童と全教職員が、シベリウス作の交響詩フィンランディアを東京フィルハーモニー交響楽団（総勢八十名）の演奏で合唱しました。

前田小学校フィンランディア

一七角山から見える 美しいわが故郷

阿仁川の流れのように きらめく前田の子

笑顔と優しい歌で 心と心をつなぐ

二豊かな緑の中を 夢運ぶ内陸線

夜空を彩る花火 心おどる火祭り

笑顔と明るい歌で 前田の未来ひらく

作詞は、全校児童が考えた前田のよさを表した言葉をまとめた教職員。歌詞を解説すると、全校七角山登山で中（なか）の段から見た故郷前田の風景。せせらぎの音を奏で輝きを放つ阿仁川。一年教室から見える内陸線列車。全校児童によるロックソランや阿仁前田獅子踊り後の七夕火祭りでの各種イベントの光景です。

当日のフィナーレは、「窓にそびゆる前田富士、軒端流るる阿仁川や」で始まる高橋政和作詞・成田為三作曲の前田小学校校歌をオーケストラの演奏で全校児童と地域の皆さんが大合唱。歌い終えた一人一人の笑顔と鳴り止まぬ拍手が未だに脳裏に浮かびます。前田つ子の歌声の美しさは、故郷の原風景を校歌として歌い継がれる中で、築かれた伝統の一つであることに気付かされた感動の一時でした。

また、保育園との合同運動会や校内相撲大会では、七角山を仰ぎながら地域の皆さんの声援を受け、躍動する園児や児童の姿から地域と共に歩む教育活動の素晴らしさを実感しました。四季折々の七角山の姿と児童一人一人の成長を重ね合わせて過ごした至福の二年間でした。

結びに、これまで多くの卒業生によって築かれた歴史ある前田小学校は閉校になりますが、故郷の風景は変わりません。少子高齢化の時代だからこそ、地域の宝である園児・児童・生徒が、森吉地区の原風景を生涯持ち続けるように、これまで以上に地域の皆さんの力が必要なのは、前田小学校の校歌を口ずさみながら……。

「校歌」への想い

第五十六代校長

山田 理



「校歌の五番って、聞いたことないなあ。」前田小学校に赴任以来、漠然と思っていました。赴任二年目（令和二年度）。工藤教頭先生から、「五番まで歌って、家族や地域の皆さんに聴かせたいですね。」という提案があり、我が意を得たりと、すぐに行動開始。学校報で、保護者や地域の方々に、五番までの音源について情報提供をお願いしました。

その後、幸いにも「浜辺の歌音楽館」元館長の金新佐久先生にお会いする機会に恵まれ、昭和三年につくられた当時の曲想を、創立百四十五年を経て、令和の時代に歌い継いでいきたい、という趣旨に賛同していただき、全校児童への指導をお願いすることとなりました。

令和二年九月。金先生の澁刺とした指導を受けた子どもたちの歌声は大きな変容を遂げました。そして十月の学習発表会。全校児童三十七名全員で、前田小学校「校歌」を五番まで歌い上げました。まるで目の前に当時の子どもたちが現れたかのような錯覚を覚え、曲を書き上げた当時の成田為三先生の想いも伝わってきたような気がしました。歌い終わった瞬間、大きな感動と割れるような拍手が体育館全体に広がりました。

「私が在学中は校歌を五番まで歌うことがなかったもので、それを聴けた喜びと、改めて前田小学校の校歌のよさを思い出させてくれたことに感謝します。」参観者からは温かい言葉を数多くいただきました。地域の活力とエネルギーとなり、地域に笑顔を届けようと取り組んだ二年間、子どもたちや先生方、保護者、地域の皆様から支えられたこの二年間は、私にとってかけがえのない時間となりました。ありがとうございます。結びになりますが、前田小学校の「校歌」は、地域の誇りであり、心の故郷であり、神のまなごを育み、過去と未来を繋ぐ道標、唯一無二の存在です。閉校にあたり、前田小学校の「校歌」が歌い継がれていくことを祈念してやみません。

エゾタンポポプロジェクト

第五十七代校長

中村 修



「前田小は地域やPTAに支えられてきた学校だ。」歴代校長から口々に聞いてはいたものの、生憎のコロナ禍で交流が制限されるというジレンマの二年でした。そんな中でも、職員全員で模索し、「前小ギャラリー」「地域参加の登山」「地域ボランティアとの交流」「地区出身者の方へのビデオレター」「保育園との避難訓練や農園活動」等、できる範囲で地域との協働や発信に取り組んだことが思い出されます。そんな活動の一つに、エゾタンポポプロジェクトの活動がありました。

一年目の終わりに統合が決まり（後に一度撤回されるのですが）、子ども達に、何か一つ前田の宝（自慢）を見付けてもらいたい：そんな思いで進めたのが始まりでした。年々少なくなっていく日本タンポポ。その一つであるエゾタンポポを探し、調べ、保護しようという活動は、五里霧中のスタートでしたが、地域推進員の加賀さんの協力をいただきながら、エゾタンポポを見学したり、種を撒いて育てたり、同様の活動をしている学校と交流を進めたりしました。徐々に子ども達も、エゾタンポポが見分けられるようになり、道端のタンポポを見ては、「これは違うな」「〇〇で見付けたよ」という会話が聞こえるようになりました。

活動二年目の今年は、育てるだけでなく、パンフレットやしおり、種をプレゼントをするなど、より地域への発信を増やしましたが、地域の方からも、咲いている場所や家で育て始めたという情報をいただくようになりました。エゾタンポポを通して地域と学校がつながったことを、うれしく思っています。

子ども達にとって、前田地区は、自分を育んでくれたふるさとです。そして、ここで学んだことは、決してなくなることはない「記憶の宝」だと思えます。今後年を重ねても、協力し合いながら地域を支え、さらなる発展に寄与する前田つ子であってほしいと、心から願っています。

歴代PTA会長

初代	春日 太郎
二代	佐々木喜代松
三代	近藤 薫
四代	桜庭 陸一
五代	庄司宥二郎
六代	近藤 薫
七代	庄司徳太郎
八代	三浦富三郎
九代	春日 一嘉
十代	佐藤 茂男
十一代	三浦 富雄
十二代	加賀 松蔵
十三代	三浦 富雄
十四代	森川 富男
十五代	田中 茂男
十六代	加賀 隆之
十七代	岸野 義隆
十八代	庄司 克宣



十九代	佐藤 澄夫
二十代	柴田 武則
二十一代	池田 文明
二十二代	水木 正範
二十三代	古倉 貞男
二十四代	佐藤 誠
二十五代	片岡 喜輝
二十六代	庄司 満久
二十七代	新林 隆弘
二十八代	加賀谷安国
二十九代	織山 英行



令和五年九月二十三日大館北秋田PTA連合会より
日頃のPTA活動が評価され、PTA団体賞をいただきました。
織山英行PTA会長が、代表で受け取り、謝辞を述べました。



令和5年 PTAおそうじ応援



令和5年 全校親子レク
ママさん豚汁



令和5年 閉校記念実行委員会

円型校舎から新校舎へ

第二十二代PTA会長



水木 正 範

前田小学校の閉校まで、あと少しとなりました。数多くの卒業生を送り出した「前田小学校」の名前が無くなってしまう寂しさが日に日に強くなってきました。自分自身も本校の卒業生であり、出身校が無くなってしまうことからその思いは複雑で寂しさもひとしおなものがあります。

PTA会長当時は、現校舎の建築と円型校舎から現校舎への移転の時期でありました。保育園も併設で建築されていたことから、グラウンド内に仮設の保育園が建てられていました。移転は十月の土曜、日曜の二日間を予定しましたが、土曜日の一日で終了したと記憶しています。円型校舎玄関正面踊り場にあつた大型水槽をはじめ主なものは運搬業者等により運ばれましたが細々したものはPTAが協力して運びました。一番難儀したのは、図書でした。重い本を大人も子どもも一緒に運ぶて階段を上り下りし汗だくになりながら運びました。参加した親の力強さや子ども達の団結力を改めて認識した引越でした。

「元氣」「やる氣」「勇氣」を合い言葉に、校長先生はじめ先生方が子ども達のがんばりと笑顔を引き出してくれています。何事にも元氣な前田っ子の心を忘れずに持ち続け、新しい友達と明るく楽しい学校生活を送ることができるよう願っております。

前小、大切な時(思い出)をありがとう

第二十三代PTA会長



古 倉 貞 男

閉校記念誌への寄稿依頼が届いたが、なにせ、十数年前のことになるので記憶がおぼつかない。何か参考になるものはないかと、部屋の隅で埋もれていた箱を探って、見つけたのは、平成十八年五月十四日の「大運動会プログラム」。娘が六年生の時のものだ。

プログラムには、徒競走、持久走、全校生徒百二十六名による色別リレー（赤・青・黄）や来賓、祖父母、PTAも参加できる遊競技等があった。全校生徒によるロックソーラン。んー、懐かしいな。

当時の運動会は、単に学校行事の範疇をとり越し、前田地域の一大イベントであつた。グラウンドを取り囲むように各集落ごとのテントが並び、親・兄弟、祖父母・親類までもが集まり、わが子だけでなく、知っている子どもたちみんなに大きな声援を送つたものだ。

そして、この年の十月に現校舎へ引越越し、昭和三十八年の建設当時画期的だった円型校舎に別れを告げ、広々とした真新しい校舎で学校生活が始まった。

それから時が流れ、今年度末で閉校となることに一抹のさみしさを感じずにはいられない。

前田小学校、大切な時(思い出)をありがとう。最後に、長年、前田小学校は地域のシンボルであり、地域に大きく貢献してきた。今後地域のために校舎の活用を切に願う。

閉校に寄せて

第二十四代PTA会長



佐 藤 誠

開校から百四十九年、時代の流れとはいえ、地域とともに歩んだ母校が閉校となることは、大変寂しく感じているところです。この間、卒業生は八千九百三十一名を数え、沢山の思い出を残してくれました。本当にありがとうございました。

私も卒業生であり、親、子ともにお世話になりましたが、子どもが入学し、初めてPTA会員となつた時はまだ円型校舎であり、懐かしく感じたものでした。新校舎への引越しを経て数年後、会長の任を頂いた折には、笑顔の宿る校舎を目指し、PTAが一丸となり、地域の皆様の助言と協力を得ながら、共に歩んだ数々の記憶が思い出されます。

PTA会員となつた時は百人を超えた児童数でありましたが、数年後には百人を切り、急速に児童数の減少が進む中、前田小の児童は、全員で部活動や地域行事等を協力して頑張り、PTAや地域の皆様の協力を得ながら、皆が笑顔で活動していたと感じております。

思い返せば本当に楽しいことばかりでした。今後も、記憶とともに、未来を担う子どもたちを応援してまいります。

かけがえのない時間



第二十五代PTA会長

片岡 喜輝

私は昭和五十一年に白亜の円型校舎に入學しました。扇形の教室、円形のホール、中央を貫く螺旋階段、三階の体育館、カモシカの剥製、校庭のポプラの大木、深夜に響く呪いのピアノ伝説など、すべてに度肝を抜かれました。

通学は路線バス。当時は行き先を案内する車掌さんがいて、アナウンスの消しきれない訛りと個性的な節回しは見事な一芸でした。授業が終わると徒歩で帰る友達をバス停から手を振り見送りました。寄り道をしながらぶらぶら楽しく帰る友達が羨ましかったです。半日授業の土曜日にはおにぎりを作ってもらい、校庭で遊んでからバスで帰りました。何はともあれ六年間安全に運んで頂きました。

多くの先生にお世話になりました。記憶に残るのは一・二年担任の織山成子先生、三年は北林景子先生、四年は細田勝弘先生、六年は卒業式で大号泣の庄司邦昭先生。保健は美人の松橋美由紀先生。部活では相撲が高橋徹夫先生と田中秀三郎先生、野球とスキーが湊慶太郎先生でした。

家族に守られ、先生に鍛えられ、地域に応援され、友と遊び遊んだ時間は私の宝物です。今、感謝と寂しさでいっぱいです。

山うるわしく 水澄みて 我が学び舎の気高さよ

閉校：…新しい一歩へ



第二十七代PTA会長

新林 隆弘

私が前田小学校を卒業してから、早いもので三十三年の月日が流れました。当時は円形型の校舎であり、全国的にも珍しい形をした学校であったと記憶しています。そんな円型校舎も老朽化が影響し、平成十八年に現在の校舎へ移行しました。

新校舎になってからは長女（現高校一年生）と長男（現中学校一年生）がお世話になります。当時の学校生活や様々な行事が思い出されます。私がPTA会長になったのは長女が五年生の時で、前会長から「卒業式で祝辞を言え」というのが始めるきっかけでした。最初は戸惑いと不安でどうなるのかと思っていたが、色々な会合や行事に参加することで面白味を感じることができました。中でも、東北ブロック大会に参加させて頂いた時の印象が強烈で、今でも鮮明に記憶しています。

長女が六年生になり、卒業式も間近に迫った年明け、世界で爆発的な感染をしていた新型コロナウイルスが日本でも確認されました。当時はこれといった手だてはなく、いわゆる『三密』を避けるように行動することが唯一の対策でありました。その影響もあって、卒業式は初めて保護者不在の中で卒業児童と教職員のみで執り行われ、私の『娘の卒業式で祝辞を述べる』という願いは叶わずに終わりました。そして、その時の児童たちや保護者の気持ちは悔しさでいっぱいだったと思います。

このような辛い経験をしてきた前田小の先輩方は現在、自分の夢に向って高校生活あるいは中学校生活を一生懸命送っています。在校生の皆さんにとって、閉校は悲しい出来事ではありますが、前田小で経験してきたことを胸に、米内沢小学校で新しい一歩を踏み出し、新しい仲間と共に学校生活を楽しく、夢に向かって挑戦して欲しいと思っています。頑張れ！

最後に、これまで前田小を支えてきてくださった保護者・地域の皆様、教職員の皆様に多大なる感謝を申し上げます。また、私が在任中に背中を押して下さった前会長の皆さんや関係者の方々にもお礼申し上げます。ありがとうございます。そして、前田小学校よ、永遠にあれ。

前進



第二十八代PTA会長

加賀谷 安国

私は令和二年度、三年度の二年間PTA会長を務めさせて頂きました。在任中は少子化の大きな流れの中で、これからの学校の在り方について、学校再編や統廃合の意見交換会も開催されてきました。学校は教育ばかりではなく、子どもたちが地域と関わり伝統や愛着を育む場でもあるため、保護者や地域住民の立場によって賛否両論あるのは当然です。少人数のメリットもあると思いますが、やはり集団生活や団体行動での経験を充実させることが、子どもたちの将来につながる重要なことだと思います。

PTA活動では、会長就任時に児童数、世帯数の減少に伴った活動の最適化として提案させて頂いたが、各学年で行っていた親子レクを止め、全校親子レクを実施し保護者の負担軽減や他学年との交流、ふだん接点の少ない先生方との親睦を図りました。コロナウイルスの影響で当たり前に行っていた行事の中止や、PTA活動もさまざまな制約の中での開催となりましたが、PTA会員が丸となり子どもたちが安心安全に笑顔で学校生活を送れるよう取り組んできました。

新たな学校での子どもたちの幸せと希望にあふれる未来をご祈念いたします。

元気の源は前小の児童たち



なかなかどつこ見守り隊代表

庄司 良子

前小の児童たちと横断歩道で「おはよう」と私、「おはようございます」と児童たち。この出会いが何よりの楽しみです。

平成十九年九月の水害。阿仁川の氾濫では、五味掘、新屋布方面の児童たちがいつもの通学路では登校できず、八幡橋が橋の架け替えで長い間小又大橋を遠回りして登校した児童たちには深い感銘を受けました。また、入学式、運動会、学習発表会、花植え、七角登山などの行事に参加させていただき、多くの元気をもらいました。

「窓にそびえる前田富士 のきば流るる阿仁川や」こんなすばらしい環境の中で成長して行く児童たちは、この目の前の光景を忘れることなく頑張つて下さい。

今日まで何事もなく見守りできたことに「ホッ」としていると同時に、残り少ない日々、何事もなく横断歩道でふれあえることを楽しみに頑張ります。

長い間児童たちとのふれあいで元気をもらい私の心には宝物ができました。

最後に「がんばれ!!! 前小の児童たち」そして、本当にありがとうございました。

感謝



阿仁前田獅子踊保存会

会長 北村 文雄

今から二百五十年以上にこの阿仁前田の地に獅子踊りが伝えられました。若勢団が作られ、その若い力で村々に平和を呼び、天災から逃れるための重大な年間行事としてこの土地の人々の信仰的な芸能にまでなり、現在に至っております。

阿仁前田獅子踊りは昭和三十一年十一月十七日、今から五十八年前に『秋田県指定無形民俗文化財阿仁前田獅子踊保存会』という名称になっています。

これまで阿仁前田獅子踊りが継承してこられたのは前田小学校の子ども達のおかげだと思っております。三十数年前には獅子踊りが運動会にも参加した事などが思い出されます。私自身も阿仁前田獅子踊りの継承について色々と考えてきました。授業に二度参加してお話できた事は大変ありがたく、良い経験をさせてもらったと思います。

校長先生始め諸先生方、地域の関係者の皆様方には子ども達の伝統芸能参加へのご理解と継承活動へのご協力をいただき感謝申し上げます。

前田小学校がなくなる事は本当に残念です。

前田小学校、今まで本当にありがとうございます。

地域と共に



障害者支援施設森幸園施設長

滝澤 葉子

森幸園が東京都委託施設として開設し今年で三十年となりました。その間、児童の皆さんとは様々な形で交流させていただき心より感謝申し上げます。運動会への参加や学習発表会の見学を通して施設の生活だけでは経験できない様々な感情の芽生えに繋がったことは言うまでもありません。また、利用者の社会参加という観点からも大きな意味をもつこととでありました。

数年前からは施設のイベントで「ロックソーラン」を披露していただいております、今年は施設開設三十年を祝うイベントで披露していただき、ひたむきで力強い踊りに涙する姿がありました。このような形で交流の機会が増えてきたところに閉校が決まり、大変残念であります。

利用者の保護者が、この地域は障害があってもそれが意識されず、同情や憐みを越えて自然に包み込むように障害者を受け入れてくれていると思つてくださるのは、地域の皆様のご理解があつてのことと深く感謝しております。

学校再編後も「前田っ子」の精神を忘れず明るい未来に向けて進んで行かれることを期待しております。

閉校に寄せて

感謝



特別養護老人ホーム森泉荘
施設長 石川 博志

特別養護老人ホーム森泉荘は昭和五十八年（一九八三年）四月一日に事業をはじめました。令和五年が四十年周年の年になります。

前田小学校の皆さんと森泉荘との付き合い合いが始まった日が何時かははつきりしませんが、昭和六十二年十二月一日発行の森泉荘だより第二号に、「十月三十日、前田小学校一年生三十名慰問 遊戯・歌・楽器演奏などを披露」とありますので、三十五年ほど前には交流が始まっていたものと推測されます。それ以降も、毎年様々な学年の皆さんに森泉荘を訪れていた交流を重ねてきました。

森泉荘を利用されている方は、ほとんどが七十歳後半を超えています。そうした方たちが住み慣れた自宅を離れ、施設で生活していますので、自分の孫、ひ孫の様な前田小の皆さんとの交流はとても特別な時間でした。森泉荘だよりに残されている写真には、前田小の皆さんと利用者さんの笑顔があふれています。閉校によりそうした思い出を今後作りだすことができなくなることは大変残念ですが、写真に残された笑顔に感謝して寄稿の締めくくりとします。

前田小の皆さん ありがとう

名残り惜しみながら



前田小児童クラブ
佐藤 まり子

平成十四年に児童クラブが開設となり、公民館に一年、円型校舎に三年半在所した。

公民館では賑やかさに気遣いしたが、館長さんの笑顔に救われ、気持ちに余裕ができた。円型校舎は造りがモダンで遊び心的要素が所々に見られた。正面玄関の両脇の螺旋階段も、子ども達は用もなく上り下りし、かくれんぼなども遊んだ。衝突し怪我をする事もあった。

児童クラブが入った頃は老朽化し使用禁止になっていたが、子ども達は大人の目を盗み遠征し、大目玉を食らう事になる。子どもを叱っている自分も小学生の頃、正に此処で胸踊らせ遊んでいたことが頭をよぎり、こっそり苦笑い。

校舎はクーラーも網戸も無く、夏は蚊に悩まされた。開け放たれた窓から蚊が容赦なく入って来た。蚊一匹の退治にアメ一個の報酬となると、子ども達は競って捕まえてくれた。アメで釣るようで、多少、心苦しさはあったが、その策は功を奏した。

泥だんごブームがあった。テカテカに仕上げるのは中々難しい。途中で崩れてしまう子を見かねて、普段は威張っている先輩が手ほどきをする。そういう光景は、中々いい。

その内に校舎の周りに沢山のだんごが並べられた。保管のための軒下利用。道行く人の「あれは何だ？」と言うのを聞き及び、グラウンド側から遠目に眺めたら、隠したつもりが露わになっていた、なる程、奇妙で可笑しかった。円型校舎から現在の場所に移り十七年。小学校、保育園とは棟続き。下校時の安全性、迎えの便りさ、学校が隣という安心感が来年度から失われるのは惜しい。

窓から遠くに森吉山、目の前にななかど山、手前に阿仁川が流れる。内陸線の電車がのんびり往復するのも見える。ガタンゴトンと音がすると、「あれは縄文号だ。」「いや、笑だ。」「角館で花見をした。」「わらび座の弁当、うまかった。」などと話がはずむ。

来年度は前田小学校と、あるいは児童クラブともお別れする子もいるだろう。此処で過ごした事をどんな時に思い出すのだろう。その時はこの風景も一緒だろうかと思いを馳せる。



「チャレンジデー」～地域の方とお湯ダンス

閉校に寄せて

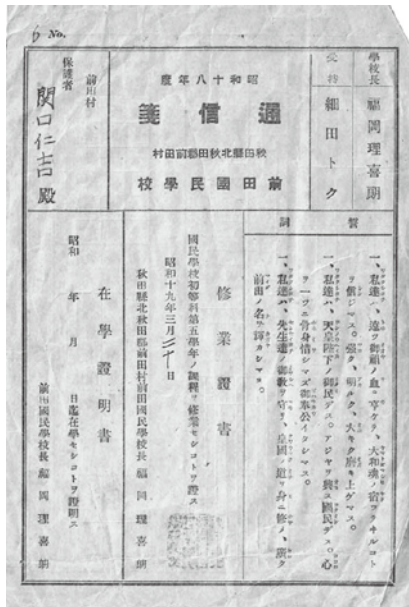
昭和十八年度卒業



関口キヌ

お陰様で、九十一歳となりました。大事にして来た小学校一年生の写真を見て、当時を懐かしんでおります。

当時は、一学級が五十人で二学級ありましたから、同級生が百人いました。私達も可愛かったですね。殆どの同級生が星の世界に旅立ったと聞いていますが、私は急がし過ぎてまだゆつくりできません。寄る年波といいますが、手も足も自由に動かないので杖を使つての日々ですが、百歳までは新聞を読み、時には投稿もしたいものだと思っています。この度は、本当にありがとうございました。



昭和十九年の通信簿



森吉山山頂にて



昭和14年 前田国民学校 第1学年

前田小学校卒業生として

昭和二十四年度卒業



中村春雄

この度、前田小学校と米内沢小学校との統合に当り、卒業して七十四年になり、改めて入学した時のことを確認致しております。

前田小学校には昭和十九年四月、一九四五年入学した、その時には日本国がアメリカと太平洋戦争に突入しておりました。四月一日に母親と一緒に入学式に出席して、その時の校長先生は福島校長先生でした。校長先生より、日本は戦争最中だから身を守り勉強をしつかりと受ける様に挨拶され、その時の言葉は今でも良く心に響いております。

また、一年生の担任の先生は柴田忠治先生でした。一年生の時は戦争中であり、七角山に一同登ることは松の枝に付いている松やにの油を採ることが目的で、飛行の燃料としての油でした。

二年生の時は太平洋戦争が終結されて安心致しましたが今でも忘れられないのが前田の上空をB29爆撃機が夜に通過した時におふくろの声で電気を消すように言われたこと。後で知ったのですが土崎が空襲にあい、その時二百数名の人が亡くなった様です。

入学の時に渡された教科書は、カバンがなくてふろしきに包んで学校に通いました。

また、日本がアメリカに敗けたこと、昭和天皇が敗戦を伝えたラジオで知りました。

一番苦しかった事は、食べるものが満足に食べられず学校に行くにしても厳しい学校生活でした。

六年旧前田小学校を卒業するまで戦争の体験もありましたが、その中でも忘れられない事は修学旅行でした。初めて見る海の景色。浅虫の宿での夕食は心より感激致しました。その時には五百円頂いての旅行になった。又初めて見る水族館の数々の魚も見事で、前田から離れたことのない児童でした。海の水面の美しさは本当に忘れられません。

一緒に学んだ同士のこと、百四十九年の歴史を伝えた前田小学校に対して改め感謝の念で一杯です。六年間卒業するまで指導して下さった各位先生のこと、勉強と共に学んだことはこうして八十五才の現在でも想い出す度に世の変化に生きている事心より有難い。

統合するにあたり前田小学校最後の各位先生には、前田小学校で教えた事は又学んだ児童各位も決して忘れずこれからの教育指導者としての役割を願っております。頑張つて下さい。

窓にそびゆる 前田富士



昭和三十年度卒業

松浦義春

前田小学校と歴史の深い学校名が無くなる事は少子化とはいえ、とても残念です。

タイトルに掲げたように、校歌「窓にそびゆる 前田富士 軒端流るる阿仁川や——」と二十年代私共が入学し、朝の全校朝礼のとき体育館で「右に並え、前に並え」と、整頓し、成田為三作曲の校歌を歌った事が思い出されます。

卒業後、同級会などでも必ず、前小の校歌は集まった方々で合唱し、当時を懐かしんでおります。特に運動会、遠足、学芸会などは深く思い出されます。

そして時は進み、自分の子ども達が新しい円型校舎で学んだ頃は、運動会、学芸会など子供達といっしょに楽しみました。私の子どもは三人おり授業参観日の度、円型校舎の階段を登ったり下ったり走りがけで登り降りし、他の親達とも行き交うので賑やかであった事を思い出されます。いろいろと思い出を書きました。

今まで前小発展のためご尽力下さった皆様に感謝し、統合後は次代を担う子ども達のため、楽しく学べるため、地域一帯となつて協力していこうと思います。

前田小学校閉校に寄せる思い



昭和三十九年度卒業

白澤光慶

この度、前田小学校が米内沢小学校と話し合いの末、統合することに決まりました。私が卒業してから半世紀にもなるので小学生時代の記憶はうつすらとしかありませんが、私たちの母校が閉校になると決定し複雑な気持ちであります。

私たち桂瀬地区の子供たちは阿仁合線（現内陸線）で通学していました。阿仁前田から学校までは徒歩で、冬は竹スキーやスケートに乗って行くこともありました。汽車は当時蒸気機関車で石炭を燃やして走るので、車掌さんが子供たちに石炭を入れてもいいからと言われスコップで入れたことは、今は良い思い出として残っています。阿仁前田の駅にいると山からトロツコが入ってきて、木材と石炭を運んでくるのを見るのも楽しいものでした。

小学校のグラウンドは中川原にあり、運動会ではグラウンドが大きく走るのが大変だったと記憶しています。当時の大人たちはお酒も飲むので、運動会の帰りは一輪車に乗って帰る人もいた記憶があります。また、クラブ活動もあり、野球と陸上に入り阿仁部の大会にも出場し盛んでした。

私の時代は古い校舎で勉強に励みました。のちに円型校舎ができ、その頃はすでに卒業していたので円型校舎での勉学に励むことはなかったのですが、その後円型校舎は解体され、現校舎は自治会の役員として校舎に出入りさせていただいています。

今回で前田小学校としての歴史を閉じることになりましたが、現在の校舎は阿仁前田地区のためにも残り、地区の活性化に繋げていければと思います。前田小学校を支援していただいた方々、関係者各位の皆様、有難うございました。

二つの校舎に入れた思い出



前田小学校 コーディネーター

昭和四十一年度卒業

加賀 隆之

「先生おはようございます」担任の鈴木八千代先生宅に挨拶をして学校へ向うのが一日の始まり。先生の制服のズボンには折目がしつかりと。一年生から四年生途中まで古い校舎だ。七角山や阿仁川を眺め石段を上り中に入ると廊下の板がギシギシと軋む音がする。外には落葉樹、秋田杉、枝垂れ桜、鈴掛の木があり生徒達を見守っていた。当時特別に大きな木に見えた。

四年生の途中から円型校舎だ。真新しくペンキを塗った壁はキラキラ、スベスベとなり心地良い。早く学校へ着くので螺旋階段で遊んだり、放課後には体育館の屋上にある通路で走り回ったりした。想い出すのは校務員の佐藤末治さんだ。学校周辺や裏庭の整備、冬場の薪や石炭の準備など寒い冬の暖をとる為に一生懸命に頑張っていた。佐藤さんは同級生の父だ。

今は無き円型校舎。裏庭にあった、やや傾斜がかり緑を一杯蓄えた大木の黒松が今だに脳裏に残像として残っている。

多くの地域の人達、個性のあるすばらしい先生方に支えられ百四十九年間歴史を刻んだ前田小学校。記憶の中にとどめ、未来に向かって強い子になれと明日の前田の子ども達にエールを送る。

「フレ、フレ、マ・エ・ショー」

我が母校

平成十年年度卒業

森川 政和

山紫水明の地に佇む、円型の旧校舎を卒業して、二十四年の歳月が経ちました。通学していた前田の町並みは今なお当時の面影を残し、町を歩く度あの頃の記憶が蘇ります。町の象徴であり思い出が沢山詰まった旧校舎は十数年ほど前に解体され、そして今、前田小学校が閉校になると聞き、寂寞の思いと共に数々の思い出や感謝の気持ちが同時に私の心の中で溢れました。三兄弟の末っ子の私は年子の兄と共に兄弟で相撲部に所属し小さい身体ながら必死に相撲に打ち込んでいました。私が六年生の時には県大会で団体戦準優勝という結果を残すことができた、あの時の喜びと今一步で優勝出来なかった悔しい気持ちは今でも覚えています。また放課後は土俵まで校舎からグラウンドを通って裸足で歩いて向かっていました。よく足裏を怪我していました。あの頃の自分に会えるのなら、「サンダル」の存在を伝えたいと思います。こうして改めて振り返ると、友達と笑い合った日々、先生に叱られ泣きべそをかいた日、数十年経った今でも一度目を瞑れば、あの裏側に思い出として鮮明に蘇ります。閉校にはなりますが、そのかけがえのない時間は私の中で生き続けていくことでしょう。そして、沢山の友達、先生方、地域の方々に出会えたのも前田小学校のおかげだと感謝しています。ありがとうございます。



冷水探検～柴田さんの芝桜



総合的な学習～エゾタンポポを探しています！

わくわくドリーム小学校

平成十六年度卒業

鈴木 雅 翔



私が円型校舎に入學した年。桜づつみ公園に桜の木を植樹し、自分たちが絵をかけた内陸線「わくわくドリーム号」が動き出した。桜の木と背比べをし、ドリーム号とともに旅を始めた私の小学校生活は、まさに夢のような時間だった。

生き物に囲まれた生活。裏庭の鶏小屋や一階のインコ部屋などを懐かしく思い出す。職員室の真上にあつた体育館。先生に怒られると、体育館で必要以上に飛び跳ねている友人もいたが、先生方は気付いていたのだろうか。校舎周辺の土砂で至高の泥団子制作に勤しんだことや、サンクスでデュエルマスターズのレアカードをほぼ100%で当てる裏技を発見したことも懐かしい。野球部と陸上部、スキー部を兼部して頑張つていても、相撲大会で相撲部にコテンパンにされたのもよい思い出だ。阿仁前田獅子踊りでも貴重な体験をさせていただいた。このような充実感を覚えたのは、偏に先生方や地域の方々のおかげに他ならない。心より感謝申し上げますとともに、私もこれから卒業生として、また地元の教職員の立場として、前田つ子のわくわくドリーム生活を支えていけたらと思う。ありがとう前田小学校。

我が学び舎の気高さと 懐かしさと誇りと

平成十七年度卒業

佐藤 幸 智
(旧姓 藤本)



緑豊かな前田の土地で六年間小学校生活を送ったことがとても懐かしく思い出される今日この頃。十八年前、円型校舎だった頃の最後の卒業生として記念誌に言葉を残せること、誇りに思うと同時に、母校が閉校になるのをとても寂しく思います。

円型校舎、私達が入學した頃にはもう既に老朽化が進んでいましたが、変わった形の校舎へ通うことに嬉しさを感じていたのを覚えています。三階にあつた体育館で走り回ると校舎が揺れ窓が振動していたことや、冬は三階から一階まで届くほど特大の氷柱ができ、「これが折れたら校舎が崩れるのでは…」とスリルを感じながら過ごしたこと、六年の冬にはいよいよ雨漏りにより三階が水びたしになり、授業が出来ず皆で掃除したこと、全ていい思い出です(笑)それでも、校庭に咲いていた桜は毎年とても美しく、小学生ながらに春になると胸を躍らせて広い玄関の階段をかけおりました。くだらないことばかり覚えていたのですが、これを読んでいる方が少しでも円型校舎で過ごした情景を思い出して懐かしんでいたただけなら幸いです。六年間過ごした学び舎での思い出を持ち寄り、同級生たちとまた思い出話に花を咲かせながら笑い合えることを夢見て…。

母校「前田小学校」

平成十九年度卒業

若松 裕 二

母校が閉校になると聞き、寂しく思うのは、卒業してから長い月日が経ったという事でしょいか。

入学から卒業まで、何人か友達の出入りがあり、担任も変わりましたが、共に過ごした方の事や、様々な思い出がいまだに浮かびます。

入学時は全てが新鮮で、遊びながらの下校は親を心配させたものでした。

私の一番の思い出は、校内相撲大会で負けて泣いた事でした。逆に勝つてもうれし泣きしてました。勝負の楽しさと厳しさを学び、恵まれた環境で育つ事ができ、誇りに思います。

私は、当時全国的に珍しい「円型校舎」で学び、現校舎では五年生の頃から過ごしました。新校舎完成までの工程や出来立ての校舎に入った時の感動が懐かしく思えます。

様々な出来事、そして皆が思い思いの六年間を過ごした校舎から、間もなく子供たちの声が聞こえなくなってしまう事を寂しく思います。

せめて、私の思い出の詰まった校舎を、有効活用して下さる事を祈ります。

これから統合される小学校に通う皆さん、ぜひたくさんの人に出会い、良き思い出を作って下さい。そして、未来に向かって立派に成長し、社会に羽ばたきましょう。

前田小学校へ

平成二十二年卒業

藤嶋星華



まずは前田小学校、長い間お疲れ様でした。今回、このような機会を頂けたことを嬉しく思う気持ちと同時に、大好きな我が母校がなくなるといふ寂しい気持ちでもあります。

六年生の時に、現校長先生である成田先生が、バスケット部の顧問になりました。それからの毎日は地獄のような辛い日々でした。限界まで走らされるシャトルラン。シュートを外したら最初からやり直しのスリーメン。帰れと怒鳴られ体育館の電気を消されたこともありました。人数も少なく体格も小さかった私達ですが、成田先生は一生懸命向き合ってくれました。怒られながらも、すごく楽しかったのを覚えています。そして、前小ミニバス部の長い歴史の中で成し得なかった『全県優勝』の目標達成。みんなで同じ目標に向かい、切磋琢磨する仲間がいたあの時間は何にも変え難い私の宝物です。

多くの学びがあり、たくさんの子どものたちの成長を見守ってくれた学び舎から、まもなくして子どもたちの笑い声が聞こえなくなると思うと、とても寂しくなります。お世話になった先生方、クラスメイトの皆、素敵な時間をありがとうございました。前田小学校、ありがとうございます!!

前小閉校に寄せて

平成二十五年卒業

三浦陽奈



前田小学校を卒業してから早九年、閉校の知らせを聞いたときは驚いたのと同時に寂しい気持ちになりました。前小で過ごした日々はとても楽しく今でも思い出に残っています。

私たちのクラスも一クラス十二人と少ない人数でしたが、そのおかげでみんなの仲が良く、授業や休み時間など一緒に過ごした時間が懐かしく思います。

そんな思い出のつまった小学校生活ですが、特に部活動が印象に残っています。私はスキー部に所属していて冬の間は特に練習に打ち込んでいました。前小のスキー部は先輩後輩の壁がなくまた、男女も関係なく競いあひながら練習していました。そのおかげで六年生の時には大会でリレーも個人も優勝することができました。あの時、きつい練習を乗り越えて結果が出たのが楽しかったから中学、高校とスキーを続けることができたのだと思います。指導してくださった先生方、引率していただいた保護者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

在校生の皆様はこれから新しい環境で大変なこともあるかと思いますが、目標をもって元気に過ごすことを祈念しております。

窓にそびゆる前田富士

平成二十六年卒業

清水直哉



長い歴史のある前田小学校は、令和六年度の米内沢小学校との統合に伴い閉校となります。統合により、他校との交流も深まる反面、歴史、思い出がたくさん詰まった校舎が閉校し、大変淋しい限りです。私は、平成二十六年に前田小学校を卒業しました。現在の校舎が建ち、真新しい教室で勉強に励んだことがとてもいい思い出となりました。同級生十人で過ごした六年間は毎日笑いが絶えず、時には喧嘩もあり、とても賑やかな教室で過ごしたのを鮮明に覚えています。

私の小学校六年間は、特に部活動が印象に残っています。三年生から始めた野球は先輩達に恵まれ、全県大会に出場することができました。最上級生になり、野球部のキャプテンとしてチームをまとめ、地区優勝できたことはとても私を成長させてくれました。勝つために必死に仲間と練習した日々、勝利を親、仲間、先生方とわち合った時間、たくさん喜び、感動、達成感が、人生において基盤となりました。その経験が活き、現在も好きな野球を続けているのだと強く感じます。

私は現在、介護士として北秋田市の福祉施設で勤務しています。たくさんの方々への感謝の気持ちをこれからも地元・北秋田市へ還元できるように精いっぱい頑張っていきます。

これからの世の中も少子化が進み、児童数は減少していきます。そのような時こそ、「輪」を大事に生活してほしいと思います。学校生活必ず嫌な事、逃げたいと思う事はあると思います。でも、仲間との「輪」を大切にみんなで助け合い、学び合っ

て全員で乗り越えてほしいです。その先には、必ず「友情」が生まれ、「達成感」を全員で味わうことができます。

最後になりますが、閉校に伴いたくさんの方々

に感謝の気持ちでいっぱいです。長年の歴史がある前田小学校の卒業生としての誇りを持ち今後も精進していきます。ありがとうございます。

光をくれた場所



平成二十九年卒業

梅井 瑠菜

私にとって前田小学校は人生を変えてくれた大切な学び舎です。

入学したとき私は皆と違う幼稚園から来たため友達が一人もおらず極度の人見知りを発動していました。朝の健康観察も自分で言えない程でした。でも皆私にたくさん話しかけてきてくれてすぐに仲良くなり人見知りもなくなりました。私と仲良くなってくれて感謝しかありません。

学年が上がるにつれ私は自分に誇れるものが何一つ無いと思い悩むようになりました。何をやっても誰もほめてくれず、やる気が起きなくなり中途半端にいつもやめていました。

そんな何も無いと思っていた私の才能を見つけてくれたのが石田勝先生でした。国語の時間に書いた感想を「こんなにいい事を書いた生徒は今までいなかった。」と言ってくれたのを機に先生の勧めで様々な作文コンクールに出品し数多くの賞を獲得できました。何も無いじゃない、気づかなかったただけなのだと石田先生は私に希望を与えてくれました。

私の人生に光をくれたこの学び舎のことを未来永劫決して忘れません。

ありがとう前田小学校。

ありがとう、前田小学校



平成二十九年卒業

松浦 鷹祐

「窓にそびゆる前田富士」前田小学校閉校により、この成田為三さん作曲の校歌がなくなってしまう事、とても残念に思います。私には、五歳上の兄がいます。兄の野球の試合前には応援スタンドから、必ずこの校歌を親はもちろん地域の方々も歌っているのが思い出されます。

私が前田小学校に通っていた時は全校児童が百人以下となり部活動もスポーツ少年団に移行しはじめた時期でした。私は、野球、陸上、スキーをしていましたが、陸上は学校の先生が放課後熱心に教えてくれ、大会後八橋陸上競技場でみんなと喜びをわかちあいました。野球、スキーも親を中心に先生達の応援、勉強との両立等助言をもらいながら、一生懸命夢に向かって努力し続けた日々、辛い事からうれしい事まで思い出がたくさん浮かんできます。

私は、この小学校で培った経験を活かし、現在、秋田北鷹高校スキー部で今も努力を続けています。昨年、国体リレー優勝、個人ではジュニアオリンピック三位、インターハイ四位という成績でした。高校最後の年、一番にかかっているインターハイリレー優勝という目標を達成し、前田小学校卒業生として、誇りをもち結果報告できればと思っています。

最後に、前田小学校はなくなってしまうですが、またみんなで会って思い出を語り、前小学校歌を歌える機会があればと楽しみにしています。

母校に寄せる思い



平成三十年卒業

片岡 結萌

前田小学校を卒業して五年。五年前まで通っていた小学校の閉校について未だに実感が湧きません。

前田小学校で過ごした六年間の中には、多くの行事がありました。相撲大会、学習発表会、修学旅行。全て思い出深いけれど、一番はみんなで過ごす何気ない日常です。同級生八人の少ない人数で、高学年になるにつれ困難なことも増えました。しかし、少ない人数だからこそ何をやるにも全員で全力を注ぎ乗り越えていきました。円になって給食を食べたり、みんなで休み時間に教室で遊んだり、いつでもまわりには大切な仲間がいました。そんな日々がとても充実していたように思います。

私にとって初めての「学校」という場が前田小学校で本当に良かったと思っています。たくさんさんの思い出が詰まったこの校舎が閉校となってしまうのは本当にさみしいですが、学校はなくなってしまうても卒業生、そして地域の方の心の中に存続し続けることを信じています。前田小学校はいつまでも私の自慢の学校です。



前田小学校へ絶大な感謝を

平成三十年度卒業

加賀 光生



とうとうこの時が来てしまったなと、この紙を受け取った時思いました。前田小学校を卒業して五年、周りの環境が変化してきているのだと改めて実感しました。

この文章を書くとき、真つ先に考えたのは、お世話になった先生方のことです。癖の強い先生や優しい先生、少し怖い先生だったり、いろいろな先生がいたなと思いました。自分がかこまで成長できたのも、先生方のおかげなので感謝しています。もちろん、感謝しているのは先生方だけではなく、共に成長してきた仲間たちにも感謝しています。運動会やななこ登山、学習発表会などの行事では、失敗をくり返しながらい全員で成し遂げてきました。六年間で創り上げてきたものは、大きな宝物になっていることでしょう。

百四十九年と長い歴史をもつ前田小学校で、六年間学び巣立っていったことを誇りに思っています。前田小学校という形ではなくありますが、これからも前田っ子の活躍に期待しています。最後になりますが、前田小学校には本当に感謝しています。今までありがとうございました。

我が学び舎、前田小学校

平成三十年度卒業

土佐 倫太郎



「前田富士」「七角山」に見守られて過ごした前田小学校での六年間には、特別な思いがあります。この前田小学校は私の人生の基礎を築いてくれました。先生方は、私たちに知識を教えるだけでなく、人間としての価値観も教えてくれました。また、スポーツの際には応援にも駆けつけて、たくさん声援を送っていただきました。先生たちの指導や励ましは、私たちの成長に大きな影響をもたらしました。閉校の知らせを聞いたとき、寂しさと同時に感謝の気持ちが湧いてきました。この小学校でのかけがえのない経験は私の一生の財産です。運動会、七角山登山、学習発表会、自然教室、修学旅行、たくさんの方達との学校生活の思い出、それら全てが私の心に深く刻まれています。前田小学校は、百四十九年の歴史に幕を閉じますが、それは同時に新たな歴史の始まりでもあります。在校生の皆さんには、新しい環境での学校生活や経験が待っています。先生方、友達、そして前田小学校に感謝の気持ちを忘れず、一緒に新たな一歩を踏み出して頑張っていきましょう。前田小学校ありがとう。

ありがとう、前田小学校

令和元年度卒業

若松 璃胡



前田小学校に入学したのは十年前。大きなランドセルを背負ってドキドキしながら通ったのを今でも覚えています。前田小学校は全校児童みんなが仲良く、美しい自然に囲まれており、のびのびと成長できるとても良い学校でした。

小学校六年間は楽しいこと、悲しいことなどたくさん思い出が詰まった充実したものでした。その中でも一番心に残っているのは私たちの卒業式です。ちょうどコロナウイルスが流行し始め、両親や在校生、来賓の方々がいない卒業式でした。毎年あつた在校生との言葉のやりとりがなく、体育館には六年生と先生方だけ。少しだけ寂しかったですが、そんな状況でも先生方はクラッカーの大きな音を響かせて盛大に私たちを祝ってくれました。私はこのとき、前田小学校は先生も児童も心が繋がっている最高の学校だと強く感じました。

私は前田小学校を卒業することができたことをとても誇りに思っています。長年愛されてきた前田小学校が閉校してしまうのは悲しいですが、色々な人との出会い、様々な経験や学びはどれもかけがえのない思い出であり忘れません。ありがとう、前田小学校。そして、さようなら。

六年間の想い



令和二年度卒業

近藤 陽奈

私は二〇二〇年にこの前田小学校を卒業しました。前田小学校は三百六十度周りが山に囲まれていて季節毎に変わった景色がみられ、さらに阿仁川の流れる音がとても心地よく魅力たくさん学校の学校でした。そんな大自然の中過ごした小学生時代の青春をふり返ると、中学三年生になった今、「あの頃に戻りたいな」という思いとともに様々な思い出が蘇ってきます。

前田小学校の児童達は元気がよく、学年関係なく仲が良く、休み時間などにこまやおにごっこで遊んだあの一瞬一瞬が写真のように頭に残っています。また、学習発表会などで毎年必ず行う「全校合唱」では、声の高低の差が大きくありましたが、一人一人の元気がよい活発な歌声まだ耳に残っています。自分自身も学習発表会前のみんなど、学校の雰囲気がとても好きでした。またあの頃に帰って、みんなと心から楽しく無邪気に遊びたいです。小学校は六年間あり、文字にすると長いようですが、体で感じるとすごく早いものでした。この前田小学校で育った六年間を胸にこれから、どんな困難でものりこえて行きたいです。最後に「前田小学校 ありがとう」

卒業生の心情



令和二年度卒業

庄司 大河

私が初めに閉校すると思つたときは、「いつかは閉校すると思つていたけど、まさかこんなにも早いとは思わなかった」という気持ちでした。

次に私の小学校時代の思い出を発表します。一つ目は、入学当初の頃のことです。自分より上の学年の人、みんなが恐ろしく見えて、話しかけることができませんでした。今思えば、みんな優しく接してくれていたと思うので、恐がることは必要なかったなと思います。二つ目は、初めての複式学級です。今までは、一クラスの人としか交流していませんでしたが、二クラスが一クラスになったため、人が増え仲良くできるか心配でした。しかし、実際に話してみると、話が合い楽しかったです。最後に、長く続いた前田小学校の歴史も今年で終わってしまいます。それでも、多くの人の記憶に残り続けると思います。私も前田小を卒業したことに誇りを胸にいだきながら、すごしていきたいと思えます。やっぱり、身の近の学校が閉校してしまうのは悲しいですね。



六年間の思い出と学んだこと



令和三年度卒業

新林 大空

僕がこの前田小学校に入学した時は、一年生が五人しかいませんでした。四年生の時一人が転校してしまいましたが、阿仁から転校生が来てくれて卒業まで五人で過ごしました。少ない人数のクラスでしたが、みんな仲良く楽しく過ごせました。二年生の時、前田小学校で初めて複式学級になり、二年生五人、三年生七人のクラスになりました。教室を半分に分け授業を受けたり、行事では二、三年生一緒に力を合わせて行いました。少ない人数でももちろん楽しかったのですが、人数が増えてみんなで力を合わせることの難しさ、やりがいを感じることもできました。僕たちの下の学年も児童数が減り、とうとう米内沢小学校と統合、前田小学校は閉校になってしまいます。統合しても前田小学校の素晴らしい行事や伝統を残していってほしいと思います。

僕はこの前田小学校で、仲間と力を合わせることの難しさや楽しさ、あいさつや礼儀を学びました。たくさん先輩方や先生方に教えてもらった事を忘れず、前田小学校での思い出とともに、これからも頑張っていきたいと思えます。



前田小学校の思い出と閉校について



令和四年度卒業

関口 真 尋

私が前田小学校で特に思い出に残ったことは、三つあります。一つ目は入学式の時です。とても緊張していましたが、先生方や先輩に優しく歓迎されて安心できたことを覚えています。

二つ目は、七角山登山です。六年間登ってきてた皆さんの自然の楽しさやありがたさを感じられました。中ノ段で美しい景色を見ながら成田為三先生が作曲してくださった自慢の校歌を全校で歌うというのが楽しくて、今でもずっと心に残っています。

三つ目は運動会です。チームごとに競い合ったり、全校で楽しんだりして充実した日でした。また、応援の時には紅白のチームを関係なくしていたので、そこが前田っ子の良いところだと思いました。

私は前田小学校が閉校すると知った時とても驚きました。たくさんお世話になった前田小学校と本当にお別れしてしまうのは悲しいです。私は卒業式の朝、教室に入っすぐに泣いてしまいました。そのくらい前田小学校には私達の思い出がつまっています。前田小学校は閉校してしまうけれど、これからも前田っ子としての誇りをもって生活していきたいです。前田小学校は私達の母のような存在でした。今まで本当にありがとうございました。

ありがとう



令和四年度卒業

西根 彩 菜

去年まで通っていた学校が閉校することになりました。前田小には、たくさん思い出があります。毎日の登校、友達との遊び、担任の先生との出会い、運動会、学習発表会などたくさん楽しいことがありました。とてもさみしい気持ちになりますが、改めて思い出を振り返ることで、小学校が私たちにくれたものに感謝することができました。小学校での出来事は、私たちのこれからの人生に、大きな影響を与えてくれたと思います。閉校すると聞いた時は、ショックでしたが、今は学校がなくなっても、学んだことや体験したことを忘れずに、大きくなっても思い出していこうと思います。そして中学校でも小学校のようにたくさんさんの思い出を作り、楽しい時間を過ごせるようにがんばります。小学校の閉校はさみしいけれど、私たちにとつての大切な場所であり、すてきな思い出をたくさん残してくれた場所でもあります。また、これから、米内沢小学校と合併になりますが、前田小の伝統や行事、地域の良さなど受けつぎ、発信してがんばってほしいと思います。改めて、たくさんさんの経験をさせてくれた前田小学校に、感謝を伝えます。ありがとう……！



令和4年 6年函館 修学旅行



令和3年 3・4年校外学習 シンセイ電機見学

学舎に思う

保護者(昭和五十七年度卒業)

松橋 真喜子
(旧姓 庄司)

私は昭和五十二年から六年間、前田小学校で学びました。思い出を語る時、どうしても外せないのが円型校舎です。教室は扇形で、教室を出ると丸いホール、廊下と続いており、休み時間にはよくホールで縄跳び遊びや、当時流行の遊びを楽しんだものです。ジェンカの練習もここで行いました。高学年になると、三階の体育館にもよく行きました。今思うと、体育館としては少し狭かったのかと思います。が、そういう意味ではこのホールが有効活用されていたのかもしれない。

現在、保護者として前小に関わっていますが、現校舎も教室を出るとホールとなる広い廊下があり、児童の作品や、学習の成果を見ることができるとなっていて、明るくとても良い環境です。先生方にも恵まれ、地域の方々の協力を得ながら、なかなか登山やMステ、田んぼアートなど様々な活動がされています。

来年度から、米内沢小学校に学舎は移るようになりますが、子供たちには前小の校歌、校舎、校舎から見える最高の景色等を忘れずにいてほしい。そしてこれから、地域の繋がりを大切にしながら歩んでほしいです。

わが学び舎の 気高さよ

保護者(平成元年度卒業)

岸野 輪多留



「まどにそびゆる 前田富士」
「軒端流るる 阿仁川や」
前田小学校の校歌を今一度風景として想像してみる。

校舎の窓から見える前田富士(七角山)の緑色の姿。集落の間を流れる阿仁川。

「山うるわしく 水澄みて」

と、その山の美しさと見事さ、そして、川の水の清らかさを讃えつつ、

「わが学び舎の 気高さよ」

と締めくくる。「気高さ」とは、「上品で高貴な感じがある」や「品格が高い」という意味で、表現的には大袈裟な感じもするが、うるわしい山々や澄んだ川に囲まれた前田小学校はやはり、すばらしいのだと讃えている。

この素朴な自然の美しさを今でも感じられるのはとてもありがたいことだと思ひ、校歌が作られた時代から、閉校の今に至るまで、前田小学校がずっと美しい自然に囲まれてここに在り続けたと思うと、とても感慨深いものがある。

以上のように考えてみると、校歌の「気高さよ」という、少し大袈裟と思える表現も悪くはないかなと思えてくる。

移りゆく時代の中で

保護者(平成元年度卒業)

三浦 正人



最初に、この記念誌のご依頼をお受けした時に心に感じた思ひは、とうとう母校が閉校してしまうのかという現実感と、それと同時にわかつてはいたものの、なんとも言えない寂しさが心の中に広がっていました。前田小学校は、私にとっても、地域の人達にとっても、あるのが当たり前だと思っています。前田小学校の歴史は長く、私のように自分の親が通い、そこに子ども(私)が通い、そして私の子どもが通うといった親子三代、四世代の方もいらっしゃると思います。私の母が、木造校舎と円型校舎の二つに通ったと話してくれました。かくいう私も円型校舎に通った一人です。そして、私の息子は、今年六年生です。この前田小学校の最後の卒業生となります。一つの学校がなくなるのは、とても寂しいことではありますが、今この前田小学校に通っているみなさん、この前田小学校を卒業したみなさんが大人になった時、または、親になった時、自分が前田小学校の児童だったことをぜひ伝えてください。前田小学校という名前が忘れ去られていくのではなく、語り継がれていくことを切に願います。

ありがとう前田小学校



保護者(平成七年度卒業)

庄 司 絵 美

前田小学校の卒業生の一人である私も、この度の閉校はとても残念な気持ちでいっぱいです。

全校児童の人数も私達の頃に比べ激減しており、時代の流れを感じております。

少人数ながらのすばらしい所がたくさんありました。

学校に行く度に目にする上級生がさりげなく下級生の面倒を見る姿には感心させられました。

学習面でも先生方の目の行き届いたご指導には本当に感謝しております。

このようなすばらしい学校に息子を六年間通学させられないことを残念に思います。

これからは、前田小学校で学んだいろんな経験とたくさんさんの楽しい思い出を忘れずに、米内沢小学校で頑張れるよう見守っていきたいと思います。

最後に、私も息子も前田小学校の児童であつた事とともうれしく思っております。

ありがとうございました。

思い出と感謝



保護者(平成八年度卒業)

佐 藤 優 子

(旧姓 長谷川)

前田小学校の閉校、米内沢小学校との統合が決まり、卒業生としては寂しい気持ちでいっぱいです。平成三年に入學した私は、円型校舎で六年間学びました。扇形の教室、休み時間にはホールで縄跳び。体育館の下に職員室があり、会議の時にはドリブルしないように、こつそりミニバスの練習したこともあり、円型校舎が全国的にも珍しいことを知り、誇らしく思っていました。

行事では、焼山でのなべっこ遠足やスキーが印象に残っています。特にスキーでは、ロープリフトが苦手で、山頂までなかなか行くことができずに苦労しました。他にも、校内相撲大会や雪像コンテスト、様々な行事がありました。

令和五年四月、前田小学校最後の一年生として息子が入學しました。親として閉校までの一年間に携わることができ、嬉しく思います。前小で過ごす一年間が、息子たち一年生にとって大切な思い出になるようにサポートします。

最後に、前田小学校、たくさんさんの思い出をありがとうございました。

円型校舎での学び

保護者(平成十四年度卒業)

森 川 涉 哉

平成十年、私は真新しいランドセルを背負いワクワクした気持ちで前田小学校に入學した事と思います。入學当時は円型校舎がどれほど素晴らしい、珍しい校舎か全くわからず、ただただ学校生活を送っていました。

今、考えてみると、すごい校舎の元、私は学んでいたんだと思います。現在、円型校舎は全国で数える程しか残っていない様で六年間を過ごせた事はとても誇りに思います。

そんな円型校舎も今では新しい前田小学校になり、そして少子化などもあり、閉校を迎えようとしています。振り返ってみると沢山の思い出がよみがえってきます。

扇形の教室で学んだこと、中央のホール、グルグル回る階段今では中々考えられない造りの中で仲間と共に過ごせたことは一生の宝物になることでしょう。

前田小学校の長い歴史と伝統を、統合する小学校でも受け継いでほしいと共に、皆さんの心の中に思い出として残ってほしいと思います。

これからは新しい学校で沢山の事を学び、沢山の人と出会い、大きく成長してほしいと思います。ありがとうございました。



大正10年阿仁前田全景



大正10年（校長 高橋丈一氏）



大正11年五部会優勝記念



私学の校長を務めた唼風氏

弄月園唼風日録の明治七年一月二十八日の頃に「学校設立 鈴木謙之助宅を借り受け本日より開就生徒三十人あまり」とある。



二代校長 石井修太郎氏

「当村小学校本日より開業教師上層多門生徒三十余名学校は宝泉寺也副区長大和田清風臨席学校開祝庄司清兵衛宅にて相催し伍長等打寄り」

唼風日録より



昭和9年 創立60周年記念



昭和2年 青い目の人形の歓迎会



昭和30年 旗行列



昭和33年 八幡橋竣工



昭和23年6月 五部会相撲練習



昭和28年度 運動会



昭和三十六年 南米移住者



昭和36年3月 南米移住見送り



昭和37年 全国唱歌ラジオコンクール県大会優良賞



昭和30年 創立80周年記念



昭和33年 運動会（入場行進）



昭和35年 学級会（3年生）



昭和35年 遠足
（5年生）



昭和35年度 PTA食堂



昭和30年代 中川原に行く仮橋



昭和35年度 卒業式（答辞）



昭和35年 校内スキー大会

思い出のアルバム

昭和38年～昭和47年



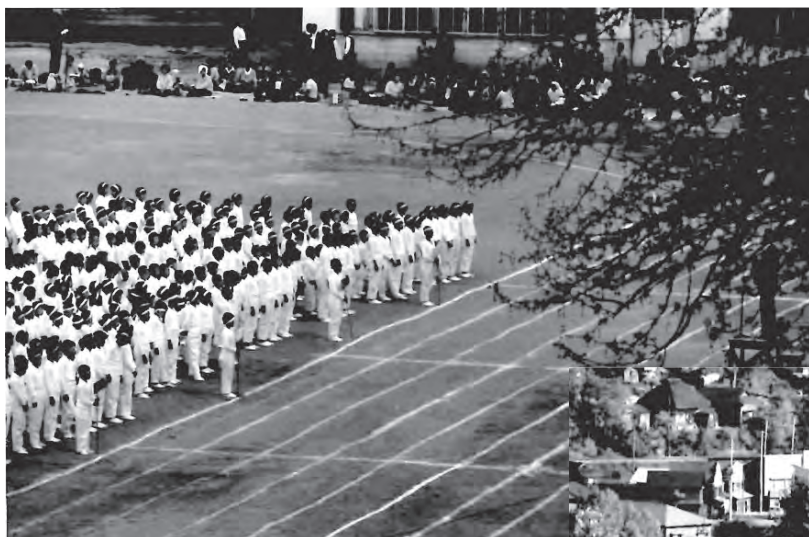
昭和40年 授業風景



昭和40年 授業風景



昭和40年 修学旅行（弘前市）



昭和42年 運動会



昭和42年 校舎越しの風景



昭和42年 スキー授業



昭和45年 遠足（上惣内）



昭和45年 遠足（上惣内）



昭和45年 遠足（上惣内）



昭和45年 遠足（上惣内）



昭和 45 年 学芸会駒の入場



昭和 45 年 部活動



昭和 45 年 部活動



昭和 45 年 部活動



昭和 46 年 運動会



昭和 46 年 修学旅行（立待岬）



昭和 46 年 野球部



昭和 47 年 ガラス磨き



昭和 47 年 業間体育



昭和 47 年 修学旅行



昭和 47 年 スキー



昭和48年 学習発表会



昭和48年 学習発表会



昭和48年 野球



昭和49年 水泳大会



昭和49年 学習発表会



昭和49年 席書大会



昭和49年 運動会



昭和51年 森吉登山



昭和51年 すもう大会



昭和52年 遊具作り



昭和 52 年 運動会（あみくぐり）



昭和 54 年 焼山なべっこ



昭和 54 年 卒業式



昭和 54 年 花壇作り



昭和 55・56 年 町の子、村の子交流会



昭和 56 年 いちょうの木の前で



昭和 58 年 運動会



昭和 58 年 なべっこ



昭和 58 年 自転車大会



昭和 57 年 水泳大会

思い出のアルバム

昭和59年～平成6年



昭和 59 年 集会



昭和 59 年 自然教室 竹馬



昭和 59 年 自然教室 焼きいち工作



昭和 59 年 キャンプファイヤー



昭和 60 年 給食



昭和 60 年 運動会 鼓笛



昭和 60 年 校外学習



昭和 60 年 修学旅行



昭和 60 年 森吉登山



昭和 60 年 卒業式見送り



昭和 60 年 野球部優勝



昭和 61 年 学習発表会



昭和 61 年 焼山なべっこ



昭和 62 年 運動会選手宣誓



昭和 62 年 焼山なべっこ



昭和 63 年 焼山なべっこ



昭和 63 年 縄跳び大会



昭和 63 年 校内水泳大会



昭和 63 年 交通安全教室



昭和 63 年 グラウンド改修工事竣工記念体育大会



昭和 63 年 郷土学習クラブ



平成元年 ちびっ子相撲大会



平成 2 年 町の植樹祭



平成 2 年 地区対抗綱引き



平成 2 年 水泳記録会



平成 2 年 校内スキー大会



平成 2 年 運動会



平成 3 年 学習発表会



平成 4 年 春の中庭



平成 4 年 けんけん相撲



平成 5 年 たなばた絵灯籠作り



平成 5 年 ちびっこ茶道



平成 5 年 花壇の草取り



平成 5 年
激励集会



平成 6 年
学習発表会



平成 5 年 中国視察団歓迎集会

思い出のアルバム

平成7年～平成17年



平成7年 10月29日 創立120周年記念式典



平成7年 10月30日 学習発表会～桃洞の響き



平成8年 雪合戦



平成8年 日米相撲選手権ハワイ大会激励会



平成9年 運動会



平成9年 獅子踊り



平成9年 校内スキー大会



平成9年 給食



平成9年 授業風景



平成10年 わくわくドリーム号ペイント



平成10年 わくわくドリーム号完成



平成11年 パソコン導入



平成 11 年 組体操



平成 12 年 ジャングルジム



平成 12 年 ゆうゆうガーデン



平成 13 年 キャンプ



平成 13 年 授業参観



平成 14 年 ダム広報館開所式



平成 14 年 内陸線に乗って遠足



平成 15 年 火祭り



平成 16 年 雪像作り



平成 16 年 地域の方々と交流



平成 17 年 森吉登山



平成 17 年 味噌造り

思い出のアルバム

平成18年～平成24年



平成18年 雪遊び



平成19年 バイオリンコンサート



平成18年 田植え



平成19年 ちゃんこ鍋講習会



平成19年 プレ植樹祭



平成19年 国体山岳競技応援



平成20年 スキー授業



平成20年 バイキング給食



平成20年 校内相撲大会



平成20年 寿大学



平成21年 バルーンアート



平成21年 運動会



平成 21 年 七夕火祭り



平成 21 年 浜辺の歌音楽祭



平成 22 年 Mステ



平成 22 年 なめこの植菌



平成 22 年 修学旅行



平成 23 年 ミニバス成田杯



平成 23 年 メダカとり



平成 23 年 社会科見学（森吉山ダム）



平成 23 年 命の大切さ学習会



平成 24 年 ピアノコンサート



平成 24 年 音楽授業研究会



平成 24 年 親子レク

思い出のアルバム

平成25年～平成28年



平成25年 1年生を迎える会



平成25年 6年生を送る会



平成25年 歯の健康教室

平成25年
アナウンサーによる
読み聞かせ



平成26年 PTAバレーボール大会



平成25年 バイキング給食



平成26年 ミニコンサート



平成26年 芸術鑑賞教室



平成26年 避難訓練



平成26年 落書きバス



平成 27 年 ななかど登山



平成 27 年 ロックソーラン



平成 27 年 花の苗植え



平成 27 年 校内相撲大会



平成 28 年 6 年生を送る会



平成 28 年 運動会



平成 28 年 自然教室



平成 28 年 修学旅行



平成 28 年 田んぼアート田植え

思い出のアルバム

平成29年～令和元年



平成 29 年 一人暮らし訪問



平成 29 年 学習発表会



平成 29 年 校内相撲大会



平成 29 年 社会見学



平成 29 年 職場体験



平成 29 年 田んぼアート



平成 29 年 東京フィルコンサート



平成 30 年 Mステ



平成 30 年 クラブの様子



平成 30 年 さつまいも掘り



平成 30 年 プール掃除



平成 30 年 浜辺の歌音楽祭



平成 31 年 スキー教室（高学年）



平成 30 年 児童総会



平成 31 年 ふれあい給食



平成 31 年 運動会



平成 31 年 運動会応援練習



平成 31 年 車椅子バスケットボール



平成 31 年 修学旅行



平成 31 年 人権の花

思い出のアルバム

令和2年～令和4年



令和2年 B群授業研究会（本校）



令和2年 なかよし交流会



令和2年 バルーンアート



令和2年 運動会遊競技



令和2年 学習発表会



令和3年 スキー学習

令和2年
焼き芋
パーティ



令和3年 にじiorパレット読み聞かせ



令和3年 ふるさと探訪～森吉山ダム～



令和3年 ふるさと探訪～浜辺の歌音楽館～



令和3年 阿仁前田獅子踊り学習会



令和3年 前田地区の昔話



令和4年 Mステ



令和4年 タンポポサミット



令和4年 デフ・パペットシアターひとみ



令和4年 ふるさと探訪Ⅱ 阿仁編



令和4年 花壇の花植え



令和4年 田んぼアート

思い出のアルバム

令和5年①

入学式



一年生を迎える会

前田保育園・前田小学校合同運動会



一・二年冷水探検
芝桜、風穴、
エソタンポポ



ハ全校親子レク
紙飛行機大会・伝言ゲーム
いすとりゲーム・ドッジボール



全校親子ななかど山登山



1・2年米内沢小との交流学习～北欧の杜～



チャレンジデーお湯ダンス参加

米内沢小「歌声集会」参加



田んぼアート参加



高学年八幡森探検



劇団「ぶらんこ」人形劇

思い出のアルバム

令和5年②



「人権の花」植栽式



未来まで桜を残そうプロジェクト 2023



ねぎ農家訪問



伊勢堂岱遺跡を訪ねて



動物と命の学習会～くまくま園～



ようこそスペシャリスト～水泳教室



5年自然教室～磯遊び～



人権の花
～ペコニアをプレゼント～





読み聞かせ～にじいろパレットさん～



ふるさと探訪～縄文小ヶ田駅たんぽアート～



ふるさと探訪～あじさい公園～



ふるさと探訪～正法院見学～



ふるさと探訪～大館能代空港見学～



森幸園30周年記念式典～ロックソーラン参加～



思い出のアルバム 令和5年③



あゆのつかみ取り



あゆの塩焼き



サマーフェスティバル

灯籠作り



ママヘラアイス



灯籠流し



火文字



打ち上げ花火





正課クラブ～紙工作～



6年修学旅行～函館市～



学習発表会～1年「おむすびころりんまえた」



学習発表会～2・3年「前田の歴史にイッQ」



市教育センターB群授業研究会（2・3年算数）



学習発表会～オープニング「阿仁前田獅子踊り」



学習発表会～6年「本当の宝物は」



学習発表会～全校合唱



学習発表会～四・五年「四・五年物語」



全校さつまいも掘り





児童からのメッセージ



大すき まえだしようがっこう

一ねん かすが けんりゅう

四がつのにゆうがくしきには、おおだてのおじいちゃんとおばあちゃんがきてくれて、とてもうれしかったです。たいいくなかにひとがたくさんいて、とてもきんちようしたけれど、大きなこえでへんじができました。

五がつチャレンジデーのひは、クウィンスにいつて、ちいきのひとたちと「おゆダンス」をおどつて、たのしかったです。

七がつは、ぜんこうのみんなでおおだてのしろくこうにいききました。ひこうきがとてもかっこよかったです。ぼくは、まだひこうきにのつたことがないので、のつてみたいとおもいました。せいかつかであさがおをそだてました。しゅうぎようしきのひに、きれいなはながさいてうれしかったです。

ぼくは、まえだしようがっこうが大すきです。よないざわしようにがつこうにいつたら、ともだちをたくさんつくりたいです。



たぐんのおもいで

一ねん まつうら りゅうま

「一ねんせいをむかえるかい」で、ゲームやインタビュをやりました。ゲームでぼくが一ばんさいしよにゴールできて、さいこうでした。おうかんをもらつてかぶつたら、かっこよかったです。

がつこうのきゅうしよくは、とてもおいしいです。ぼくは、ぎゅうにゆうがいてでした。一がつきは、一かいしかぜんぶのめませんでしたが、二がつきになってから、ぜんぶのめるひが増えて、とてもうれしいです。

せいかつかであさがおをそだてました。みずやりのおせわをがんばつたので、きれいなはながきました。あさがおのはなをふくろにいれて、しぼつていろみずをつくりました。いろみずでえをかいいたり、かみをそめたりするのがおもしろかったです。

ぼくは、まえだしようがっこうのことをぜつたいにわすれたいありません。



たのしかったです

一ねん しらすわ あおい

ぼくは、はやくまえだしようがっこうの一ねんせいになりたいなあとおもつていました。

ぼくは、がつこうのたいいくながすきです。とてもひろいし、やすみじかんには、バスケットなど、いろいろなあそびができるからです。うえのがくねんのひとともいつしよにあそべるので、大すきです。

八がつにサマーフェスティバルがありました。アユのつかみどりが一ばんおもしろかったです。アユのからだは、つるつるしていたので、すべつつかみにくかったです。一ねんせいになつて、ひらがなやかカタカナ、かんじもならつて、ぼくは、とめ・はね・はらいにきをつけてがんばつています。コンクールでゆうしゅうしようになり、しようじようをもらつてうれしかったです。まえだしようがっこうがなくなるのは、かなしいですが、よないざわしようにがつこうでもがんばります。



がつこうでたのしいな

一ねん まつうら りゅうま

四がつのにゆうがくしきでは、大きなこえでへんじができました。しようにがつこうにかようのがたのしみだったので、わくわくしていました。

五がつは、みずにかおをつけられるようになりました。だんだんたのしくなつてきて、けのびやばあしでもできるようになりました。ぼくは、さんすうが大すきです。「ながさくらべ」がたのしかったです。あおいさんときよりよくして、かみテープでテールなどのながさはかりました。

ぼくは、まいにちがつこうにくるのがたのしいです。まえだしようがっこうがすきです。



児童からのメッセージ



学校のいつとじ

二年 大の えいじ



ぼくの前田小学校の思い出はきゅうしよくです。ぼくは、きゅうしよくが大すきです。一ばんすきなのは、カレーです。きよ年出たサイコロステーキもとてもおいしかったです。前田小学校で出るきゅうしよくは、ぜんぶおいしいです。みんなと食べるきゅうしよくはとてもおいしいです。

前田小学校のすきなところは、体いくかんです。ぼくは、ドッジボールが大すきです。楽しいところは、外やから内やの人にボールを当てるところです。前に、親子レクで家の人といっしょにドッジボール大会をしました。ぼくのチームがゆうしようすることができました。

前田小学校の思い出やすきなところは、わすれません。

さいごのななかど山とぎん

二年 さとう かなた



ぼくの前田小学校での思い出は、ななかどとぎんです。さいごのななかどとぎんで、のぼっているときは少しこわかったです。とくにこわかったのは、石がたくさんあるところです。ぼくは、石があるところで一回ころんでしまいました。でもがんばつてのぼったらこころぶことなく、まっすぐにすらすらとすすむことができました。

ぼくは、ななかど山の中のだんについてたとき、けしきがとてもきれいだなと思いました。ななかど山の中のだんから前田小学校が見えました。前田小学校はとてもきれいでした。ななかど山をおりたときは、とてもこころにのこり、わすれられない思い出になりました。

大すき、前田小学校

二年 はま田 ひろと



ぼくの前田小学校の思い出は、みんなとべんきょうしたことです。りゆうは、みんなとべんきょうすると楽しいからです。二年生のときに、ずこうのべんきょうで、紙ねんどでふねやひこうきやカラフルにじいろをつくりました。色をまぜて、丸くしたらちきゅうみたいな色になりました。ぼくは、それを見ておどろきました。

ぼくの前田小学校のすきなところは、体いくかんです。りゆうは、どろぐがたくさんあつて、いろいろなどろぐであそぶことができるからです。りりん車であそぶのも楽しいです。ドッジボールやおにごっこも楽しいです。六年生と一年生と二年生と三年生と四年生であそびます。人数がいっぱいで楽しいです。

ずっと大すき

二年 森川 さな



わたしの前田小学校の思い出は二つあります。

一つめは、がくしゅうはつぴょう会でスイミーをしました。わたしは、くらげのやくをやりました。さいごにみんなでじょうずにおどることができたのでよかったです。

二つめは、うんどう会です。わたしは、今年白組になりました。一年生の時は赤組でした。わたしは、八十メートルそうをがんばりました。一いになれるようにさいごまではしりました。二いだったけど、ゴールができたのでよかったです。

前田小学校がなくなってしまうけど、わたしは前田小学校がずっと大すきです。



児童からのメッセージ



大すきな二・三年生教室

三年 庄司 日和



わたしが前田小学校ですきな場所は、二・三年生の教室です。なぜかというところ、思い出の教室になると思います。わたしたちは四年生になったから、よないざわ小学校に行きます。さいごの年にすごしたこの教室は、ぜったいにわすれずに、心の中にのこっていると思います。二・三年生とすごした教室で思い出にのこっていることは、休み時間です。みんなで一しよに「だるまさんがころんだ」をしました。いろいろなポーズをして遊びました。とても楽しかったです。また、一学期のお楽しみ会の時に教室でやった「なんでもバスケット」も思い出の一つです。これから先もわすれられない思い出になりました。

思い出の図書館

三年 松橋 真桜



わたしの前田小学校のすきなところは、図書館です。理由は、わたしは本がすきなので、すきな物がたくさんつまっています。きだからです。また、しずかで本がゆっくり読める場所もすきです。

三年生のころ、わたしは一学期に図書館がすきだったの、そこに昼休みのたびにきていました。わたしはそこで、持ってきた筆箱とノートで絵をかくたり、図書委員会の人や友達と話したり、わたしにとつていつぱいの思い出がつまっています。あと半年くらいでわたしは、米内沢小学校に行き、前田小学校はなくなってしまうです。ですが、わたしたちが前田小学校ですごした時間は、いつまでもわたしの心からなくなりません。

ぼくの好きな「すきま」

三年 白沢 太智



ぼくが、学校で好きなところは、二組の教室のすきまです。すきまは、後ろのそうじ用ぐ入れとロッカーの間にあります。こは、ぼくにとつてとても気持ちいいところなんです。どうしてかというと、すきまにおいてあるダンボールが体をおさえてくれるので、ギュッとされていられる感じがするからです。何もすることがないときは、すきまに行つてゆっくりします。すると、心がおちつきやすくなります。いやなことがあつたときに行くと、いやなことを忘れて、すぐにいい気持ちになります。すきまにいますと、お母さんにだっこされていられる感じがします。ふわふわのクッションみたいで、あたたかいです。とっても気持ちいい最高の場所です。

前田小学校のすきなことについて

三年 橋本 大志



前田小学校のすきなところは、ぼくの教室三年三組です。一年生のときからたくさんべん強してきた教室だからです。とくに、先生と算数のべん強をしているときが一番すきです。ほかの教科で友だちが三組にきてくれるときは、うれしいので楽しくべん強することができます。

次に、前田小学校の思い出は、ななかと山に全校のみんなと登ったことです。さいしょは天気が悪く、雨がふっていたけれど、さい後には晴れてよかったです。みんなと学校に向かって校歌を歌ったり、写真をとったりして思い出にのこる一日になりました。大きくなつてもぼくの大すきな前田小学校をわすれません。ありがとう。前田小学校。

わたしの一番好きな場所

四年 織山 董子



わたしが前田小学校で一番好きな場所は、体育館です。

体育の時間や休み時間に、体を思いっきり動かして運動したり、友達や全校のみんなと笑ったり、怒ったりしながら遊んだりしたからです。体育では特に、跳び箱や平均台が思い出です。思いっきり挑戦して、怖いところがハラハラドキドキして楽しかったです。遊びではバスケットボールとドッジボールの、球技が楽しかったです。シュートがうまくいったり、ボールをうまく操作できたりすると早くバスケットボールの練習に行きたくなりました。ドッジボールは、味方に上手にパスを回して、相手にボールを当てて、チームみんなで喜んだことを思い出します。

ぼくが一番好きな場所

四年 岸野 恒太



ぼくが前田小学校で一番好きな場所は、思い出いっぱい体育館です。ドッジボール、バスケットボールやバレーボール、おにごっこなどの楽しい遊びができるからです。遊んでいるみんなの顔は心から楽しそうです。楽しい場所だけど、きんちゃんのように感動したりする場所です。

三年生の時の学習発表会は、今までの中で一番きんちゃんのように思いました。ぼくのことや家族への思い、夢を発表するからです。はずかしかったけど、最後までしっかり発表できたことと家族にもぼくの思いが伝わったような感じがしたので、ホッとしました。そして、ぼくはちゃんとできるんだと思うと、とてもうれしくなりました。これからがんばろうと思ったことを思い出します。

来年は米小の体育館だけど、前田小学校の体育館を忘れません。

ぼくが一番好きな場所

四年 岸野 創太



ぼくが前田小学校で一番好きな場所は体育館です。特に、中休みと昼休みの体育館が大好きです。

教室を一番に出て、体育館のとびらを開けると「ようこそ。体育館へ」と、ぼくが来るのを喜んでくれているような感じがします。ぼくも「今日も楽しむよ」と思いながら心が弾みます。みんなが集まると、ドッジボールが始まります。高学年の人たちと対戦するので、思いっきり投げないと負けてしまいます。とつたと思っても手からすりぬけたり、よけきれず当たってしまったり、チャンスだと思ってもタイミングが悪くおくれたり、投げられなかったり。でも楽しいです。

ぼくが喜んだ顔、怒った顔、考えている顔、困った顔、感動した顔、どんな顔もこの体育館は見えてくれました。体育館から学びました。ありがとうございます。



令和5年 3・4年 前田小エゾタンポポプロジェクト



エゾタンポポ



ななかど山とエゾタンポポ

ぼくが一番好きな場所

五年 佐藤 遥斗



ぼくが前田小学校で一番好きな場所は教室です。今は、四、五年生教室ですが一年の時は一年教室、二年の時は二年教室、三年の時は三年教室、四年の時は四年教室です。始まりはみんなであいさつをして、朝の会をやつて、勉強をして、また勉強をして、給食当番をして、給食を食べて、掃除をして、勉強をして、帰りの会をして、あいさつをして学校での生活は終わります。そんないそがしくて変わらない生活の中にも、毎日ドラマがあります。

このドラマの中で、みんなと食べる給食は、幸せになる時間です。特にぼくの好きなものが出てくると、至福の時がやってきます。一口一口よくかんで幸せをかみしめます。でもみんながいなければ、幸せを感じるのかなと考えるときがあります。学級のみんなも幸せの一部です。

わたしの一番好きな場所

五年 柴田 麻友



わたしが前田小学校で一番好きな場所は、今の二、三年教室です。この教室は三年生の時と次の学年四年生の時、三年生との複式学級になったときの教室です。二年間その教室で過ごしました。二、三年教室が特別好きになったのは、奏音先生との出会いがわたしにとって特別なものになったからです。

授業中みんなが分かった先生は、「すごいね。正解だよ。」とたくさんほめてくれました。勉強は好きだったけれど、もつともっと好きになりました。そしてたくさんおしゃべりしました。たくさんゲームや遊びもしました。奏音先生の笑顔は、わたしたちに勇気と希望をくれました。

その教室には、わたしが付けた壁の傷やこっそり描いたキャラクターが思い出と共に刻まれています。

ぼくが一番好きな場所

五年 庄司 尋



ぼくが前田小学校で一番好きな場所は教室です。ぼくの将来がいつぱいつまっているからです。そして友達がいる場所だからです。

この前、社会で水産業の勉強をしました。知らないことが分かって楽しかったです。漁師になつて魚を捕る仕事もおもしろそうだなと思いました。かまぼこは好きだけど何で作られているか分かりませんでした。魚のすり身でできていることを知つて、うれしくなりました。大好きなかまぼこが食べられなくなつたら困るので、魚を大事にしたいなあと思いました。いろいろなことをもつと学びたいと思いました。友達といっしょに。

一人ですすめる勉強も良いけれど、友達とああでもないこうでもないと言いなから、答えを見付けていくことができる教室、友達がいる教室が好きです。



令和5年 図書委員読み聞かせ



令和5年 5年自然教室（白神体験センター）

ことがつまっている場所です。
 体育館で親子レクがありました。親子レクの一つに、紙飛行機を体育館のステージから飛ばして、距離の種目と滞空時間を計る種目がありました。ぼくは前の日にお父さんから折り方を教えてもらって、特別な紙も用意しておきました。ささつと折って、何度か飛ばして調整しました。いよいよ本番です。「体育館の端っこだまで飛んでいけ」と思い、きり肩を後ろにひいて腕を振り下ろしました。ぼくの手から離れた紙飛行機は、体育館の空気に乗って飛んでいきました。そして見事な着陸をしました。ぼくは二種目とも優勝しました。体育館のぼくの好きなことに紙飛行機も入れます。



ぼくが一番好きな場所

五年 森川 絢士

けれど安心する場所です。
 五年間友達と過ごした教室の大きな窓から見える風景は、教室によって違っていました。ぼくも身長が伸びて、いろんな事が見えるようになって、前田小学校をひっぱって行く高学年になりました。
 一年生の時、ほんのちよつとのことで大げんかになったこと。二年生の時、複式学級になって、なぜ一年生も同じ教室にいるんだろうと思ったこと。三年生の時、奏音先生に出会えてうれしかったこと。四年生と五年生で、また複式になったこと。いろいろなことがあったけれど友達はいつもぼくの周りにいると信じていることができたから、一緒に前に進めたんだなあと思いました。友達、ばんざい。



ぼくが一番好きな場所

五年 関口 正虎



これまでの経緯

- 昭和 50 年 9 月 13 日
 創立 100 周年記念事業
 「親子植樹」実施
 ＊植栽から満 40 年の分
 収造林を締結
- 平成元年 11 月
 学校林除伐
- 平成 7 年 10 月
 創立 120 周年記念事業
 「学校林間伐」実施
 ＊森林組合に委託
- 平成 27 年 9 月 14 日
 ＊契約日から満 20 年の
 分収造林を再締結
- 令和元年
 分収造林の間伐実施



児童からのメッセージ



前田小学校の思い出

六年 岸 野 温 仁



ぼくが前田小学校で過ごした六年間で特に思い出に残っていることは三つあります。

一つ目は修学旅行です。フェリーに乗って函館に行き、自主研修や五稜郭公園・タワーの見学、そして赤レンガ倉庫群での買い物を楽しみました。二つ目は親子レクです。特に家族や友達と一緒にTボールやドッジボールを楽しんだことが心に残っています。六年生ではドッジボールで優勝することもできました。三つ目はななかど山登山です。六年間全ては登ることはできませんでした。前田の自然のよさを見付け体験ができたことがよかったです。

ぼくは、前田小学校はななかど山の他にも、周りに阿仁川、森吉山と豊かな自然があり、とても魅力的なところだと思います。前田小学校が閉校になっても、この豊かな自然を見て前田小学校のことを思い出したいと思います。

楽しかった北海道修学旅行

六年 小 瀧 萌衣美



私は北海道函館への修学旅行をとても楽しみにしていました。はじめは不安もあつたけれど、グループのみんなでいろいろな場所を見学したり、おいしい物をたくさん食べたりして、とても楽しかったです。

フェリーではイルカが見えることがあって聞いて、見られたいなあと思っていましたが、残念ながら見ることはできませんでした。でも、フェリーの中でみんなと食べたお弁当はとてもおいしかったです。夜には、函館山の頂上までロープウェイで登って、夜景を見ました。キラキラしてとてもきれいで、また見に来たいと思いました。

みんなで行った修学旅行は、とてもいい思い出になりました。

前田小学校、ありがとう

六年 庄 司 昊



ぼくは前田小学校に入学してからの六年間で、たくさんの思い出がありました。特に心に残っていることは一・二年生の時に残った冷水探検です。森の中に入ると小さい穴があつて、手を入れてみたらとても涼しくてびっくりしました。休憩でみんながアイスクリームを食べたり、クマンバチを追いかけていたことも思い出です。五年生の時の自然教室も心に残っています。初めて米内沢小の友達と交流をして、とても仲良くなれました。班の人たちと協力して作ったカレーはとてもおいしかったです。また、五年生では、中村校長先生と一緒にエゾタンポポマスタールになろうとがんばったことも思い出です。

前田小学校は今年を最後に閉校になり、とても悲しいですが、前田小学校のおかげでできたたくさんの思い出を忘れずにいたい。前田小学校、ありがとうございました。

前田小学校の思い出

六年 庄 司 晴 日



ぼくの心に残っている思い出の一つ目は函館への修学旅行です。一日目は自主研修で子ども達の国や旧イギリス領事館に行くことができた。二日目は買い物を楽しみました。おみやげに白い恋人を四箱買いました。雑貨屋さんでは、温仁さんと昊さんとおそろいのクマさんのかぶり物を買ってうれしかったです。二つ目の思い出は、ななかど山です。特に今年の小学校生活最後の登山は、つかれましたが、これまでで一番景色がきれいに見えました。

ぼくはこの前田小学校で六年間、勉強や行事をやってきました。時にはつらいことや悲しいこともありましたが、がんばることができたのは、一年生から一緒に過ごした友達のおかげです。先生たちが助けてくれたからです。この前田小学校で六年間過ごして、とてもいい小学校生活になりました。



児童からのメッセージ



たぐやんの思い出

六年 橋 本 莉 空



ぼくは、前田小学校の六年間の生活でたくさんの思い出があります。

親子レクでは、ドッジボールや野球をしに登ることができました。一年生の時に行った冷水探検や初めて家族以外とまとった宿泊体験学習も楽しかったです。

特に楽しかったのは学習発表会です。六年間、いろいろな発表に取り組んだり、他の学年の発表を見たりしました。ぼくがその中でも一番心に残っていることは、五年生でエゾタンポポのことを調べて発表したことです。クイズにして楽しんでもらいました。

前田小学校は、全校の人数は少ないけれど、みんな仲がよく、協力してがんばってきました。ぼくはこの前田小学校だから、こんなにたくさんの思い出ができたのだと思います。

楽しかった修学旅行

六年 三 浦 蓮



ぼくの一番の思い出は修学旅行です。

一日目の自主研修では、班のみんなと一緒に計画をたてて、函館市内を回りまわりました。途中で食べたソフトクリームは、とてもおいしかったです。二日目は、五稜郭公園や赤レンガ倉庫群に行きました。五稜郭公園は、戦争の歴史があると分かりました。多くの血が流れたそうですが、タワーから見ただけでは、とてもきれいな景色でした。赤レンガ倉庫群ではおいしいおみやげを買えました。ラッキョーピエロで食べた一番人気のハンバーガーやラッキョーもおおいしかったです。

ぼくたち六年生は、前田保育園、前田小学校とずっとこの八人で過ごしてきました。そんな友達と小学校最後の年に修学旅行に行けて、本当に楽しい思い出になりました。

前田小学校の思い出

六年 森 川 海 奏



小学校の思い出はたくさんありますが、特に心に残っているのは、五年生の自然教室と六年生の修学旅行です。

自然教室では、米内沢小学校の人たちといろいろな勉強をしたり、前田小学校の人たちと合同でご飯を作って食べたり風呂に入ったりして、とても仲良くなりました。

函館への修学旅行では、初めての函館に初めてのフェリーに乗っていきました。自主研修も楽しかったですが、夜に観た夜景が忘れられません。とてもきれいで最高でした。何より六年間いっしょにがんばってきた仲間と最高の修学旅行に行くことができたのがうれしかったです。いろいろあった六年間でしたが、みんなで解決して、仲良く過ごすことができました。この仲間だから、思い出が充実したのだと思います。

自然のきれいな景色を感じて

六年 森 川 柚 暖



私は前田小学校でたくさんの体験をしました。その中でも、自然のきれいな景色を感じることができたことが楽しかったです。

ななかど山登山では、学校の友達や家族といっしょに登って、前田のきれいな景色を見ることができました。田んぼアートでは、地域のみなさんと力を合わせて、きれいに完成させられました。見てくれた人に喜んでもらえたと思います。冷水探検では、森の中にすずしいところがあつてびっくりしました。流れている水もきれいでした。

私は、この前田小学校の教室から見える景色も好きです。なぜなら、森吉山がきれいだからです。前田小学校は今年で閉校になり、もう教室から森吉山を見ることができないと思いますが、私はこれからもこの景色を忘れません。

ぼく・わたしの好きな場所



1年 かすが けんゆう
「四季美館」



「おうちへ帰る」

1年 さとう しょう



1年 しらさわ あおい
「阿仁川」



「内陸線が見える
お家の畑」

1年 まつうら ゆうま



2年 さとう かなた
「毎日通った通学路」



2年 はま田 ひろと
「毎日、みんなで通った通学路」



2年 大の えいじ
「公民館」

ぼく・わたしの好きな場所



2年 森川 さな
「毎日通る通学路」



3年 庄司 日和
「楽しい児童クラブ」



3年 白沢 太智

「エゾタンポポのことを
知らせてくれる前田温泉」



3年 橋本 大志
「クウインス森吉」



3年 松橋 真桜

「大すきな阿仁川」



4年 織山 薫子
「森吉山ダム」



4年 岸野 恒太
「阿仁川沿いの東屋前」

ぼく・わたしの好きな場所

「登校班が合流する場所のみはじり」



4年 岸野 創太

「大好きな阿仁川」



5年 佐藤 遥斗

「長い年月をかけてながれてきた阿仁川」



5年 関口 正虎

5年 柴田 麻友
「登校班全員がそろって
通った通学路」



「みんなと遊んだグラウンド」



5年 庄司 尋

6年 岸野 温仁
「五味堀班と新屋布班が合流する手前の橋」



5年 森川 絢士
「いっぱい遊んだグラウンド」



ぼく・わたしの好きな場所



「内陸線ときれいな川が見える小又橋」

6年 小瀧 萌衣美



「お世話になった前田公民館」

6年 庄司 昊



「毎朝の集合場所、公民館」

6年 庄司 晴日



「家から見える阿仁川と山々」

6年 橋本 莉空



「一番好きな阿仁川」

6年 森川 海奏



「通いなれた散歩道」

6年 三浦 蓮



6年 森川 柚暖
「八幡橋から見えるななかど山」



前田小学校閉校に寄せて

教頭 松岡 みつ子

私は、令和二年四月にこの前田小学校へ赴任し、教諭として一年、教頭として三年、本校の教育に関わらせてもらいました。ここでの子ども達との思い出は忘れることができません。私の宝物です。

この度、閉校記念誌作成に関わり、開校六十年誌、創立九十周年、百年、百二十周年記念誌や学校経営計画等を紐解くことになりました。明治八年開校から今日に至るまで、学制改革、赤痢大流行、大暴風、前田大火、阿仁川の氾濫など幾多の危機を乗り越えて今日の前田小学校があるのは、地域の方々の教育への理解と多大な支援、協力の賜でした。本日に素晴らしい学校です。

前田小学校は閉校となりますが、時が経つてまたこの地に立った時、阿仁川のせせらぎ、優しくそびえるななかど山、その下を走る内陸線、そして雄大な森吉山が、この地で子ども達とそして地域の方々と共に教職員みなさんと過ごした日々を思い起こさせてくれ、明日へのパワーを与えてくださることでしょう。

保護者の皆さん、地域の皆さん、そして児童の皆さん、本当にありがとうございました。



たくさんの思い出

一年担任 鎌田 淳子

「二度あることは三度ある」前田小学校には三度お世話になりました。閉校の年に、勤務することになった時、本当に縁があるんだなあと思いました。前田小学校には、たくさんの思い出があります。ありすぎて書ききれないくらいです。円型校舎の時、教室を出ると今自分がどこにいるのか分からなくなっていました。体育館が三階で、職員室にいますとボールをつく音などがすごかったのを覚えていました。阿仁川の水が増えたと一階が水浸しになったこともありました。中庭では、にわとりが散歩していました。

新校舎になり、ななかど登山や四季美湖の植樹、Mステなど、心に残る行事がたくさんありました。子どもたちの笑顔は、昔も今も変わりません。私にとって前田小学校の思い出は、宝物です。ありがとうございました。



先生方からのメッセージ



ありがとう、前田小学校！

二年一組・三年一組担任 佐藤 奏音

前田小学校には、三年間お世話になりました。この三年間で、前田小学校や前田地区のよいところを子どもたちと一緒にたくさん見付けることができました。私が特に心に残っていることは、ななかど山登山です。上級生が下級生の面倒を見て、一緒に頑張ろうと声をかけあいながら登ったことが今でも忘れられません。また、中ノ壇から見た前田地区の景色は素晴らしく、そこで歌った校歌もきくと子どもたちにとって大切な思い出となったと思います。思い出いっぱいの前田小学校が閉校となるのは寂しいですが、思い出を胸に次へのステップに進んでほしいと思います。前田小学校で過ごせたこと、誇りに思います。

ありがとう、前田小学校！



前田小学校の素敵一〇選

三年三組担任 佐藤 由茉

赴任して一年、前田小学校の素敵なところをたくさん見付けました。その中から素敵なところ一〇選を紹介します。

- ①登校後、職員室への大きな朝の挨拶。
- ②学年を越えた仲のよさ。
- ③前小を彩るエゾタンポポロード。
- ④二階から見える壮大な、ななかど山。
- ⑤給食を笑顔でもりもり食べる姿。
- ⑥時間いっぱい丁寧に掃除をする姿。
- ⑦図書室で全校仲良く読書タイム。
- ⑧友だちを思いやる優しい気持ち。
- ⑨前田愛溢れた、前田小学校の校歌。
- ⑩下校前、職員室への帰りの挨拶。

素敵が溢れた前田小学校で過ごす一年は、かけがえのない宝物です。



一期一会

四年一組・五年一組担任 畠山直子

生きていること
いま生きていること
いまでもしょ

と言いながら車に乗り込んで、朝の空を見上げると、今日のわくわくドキドキが、止まりません。何が起こるのか、良くても、悪くても、楽しくても、悲しくても、自分が今を生きている感じがします。大きな声で笑って、喜んで、泣いて、怒って、叱って、明日を語って、夢を育むことができる前田小学校が大好きです。

子ども達二十八人のすてき笑顔、校長先生を始めとする同職の先生方十二人の、一つ一つを成し遂げていくすてきな笑顔、保護者の皆さんの包み込むような笑顔、地域の皆さんの温かく見守る笑顔、そんなたくさんさんの笑顔に感謝の気持ちでいっぱいです。この出会いを「一期一会」と呼ぶとしたら、この一年間は一生に一度の出会いです。大切な宝物です。生きていること、それは、感謝。それは、ありがとうございます。



六年生の教室から

六年一組担任 加賀美和子

前田小学校に来て、二年続けて六年生の担任になった私の大好きな風景は、六年生の教室のとっても大きな窓から見える前田の風景です。保育園の屋根越しに見える八幡森や冷水の家々。阿仁川の流れ。そして森吉山。いつも私たちを見守っていてくれるようです。今年の夏休みには、六年部の親子レクで初めてその森吉山に登ることができました。とても天気の良い日で、前田地区もはつきり見えました。なんだか、前田小学校がこの地区に大切に守られているように感じられたのを覚えています。

六年生の教室はとてにもぎやかです。遊んだり、ふざけあったり、ゲームのことやスポ少のことを話したり。そんな六年生の会話の中には、よく下級生のことも出てきます。学校の中で知らない先生なんていません。全校のみんなが関わり合って生活している前田小の様子は、まるで大きな家族のようです。その中で、みんなの心に温かい気持ちがあるんだと思います。豊かな自然の中で、小さいながらも、たくさんの人に大切にされ見守られてきたこの前田小学校。もうすぐ閉校するのはさみしいですが、この学校で過ごして心に残ったたくさんの温かい気持ちの中に、いつまでも前田小学校はあり続けることでしょう。

前田小学校、ありがとうございます。



先生方からのメッセージ



大切な時間

養護教諭 和田静香

私は、大学を卒業した春に前田小学校へ赴任が決まりました。緊張や不安の中、「おはようございます！」と職員室の扉を開け、元気に挨拶をする子どもたちの姿を見て、とても驚き、感激したことを思い出します。はじめは、なかなか目を合わせてくれなかった子ども月日を重ねていくうちに打ち解け、休み時間になると「先生遊ぼう！」と自分から誘ってくれるまでに成長しました。時には、悩みを打ち明けてくれ、苦しい時間を一緒に共有したこともありました。どれも大切な時間です。私にとって子どもたちの成長と笑顔をたくさん感じることでできた前田小学校はとても居心地のよい場所でした。みんな素直で優しく、何事にも一生懸命です。そんな自分自身に誇りを持ち、心身ともにたくましく育って欲しいと心から願っています。



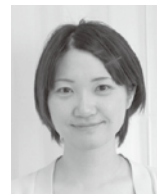
前田小学校での思い出

主事 滝口瑞輝

三月下旬。私は前田小学校に就任のご挨拶をしに向かいました。初めての土地・環境に不安で仕方なかったですが、学校の前を流れる美しい阿仁川を見て、少し心が癒やされたのを覚えています。それから一、二週間が経ち、入学式を迎えました。これもまた不安で仕方なかったのですが、壇上に立ち、「おはようございます。」と挨拶すると、子どもたちが「おはようございます！」と元気に返してくれたのがとっても嬉しかったです。

一番の思い出はななかど山登山です。思っていたよりもずっと険しい山道で、その分登りきったときの達成感がすごかったです。中ノ段からみた前田小学校も印象的でした。

閉校してしまうのは寂しいですが、前田小学校に来ることができて良かったと心の底から思います。ありがとうございます。



すてきな思い出をありがとう

生活サポート員 成田 美輝

昨年から二年間、前田小学校にお世話になりました。この仕事を始めて、初めての異動だったので、とても不安でした。でも、子どもたちが歌った校歌のすばらしさに感動し、キラキラした笑顔に迎えられる、ホッとしました。

前田小の子どもたちは、学年関係なく休み時間になると体育館やグラウンドで遊びます。私も一緒にバスケットや鬼ごっこをして遊びました。そのおかげで、全員と関わることができました。毎日学校に来るのが本当に楽しかったです。

百四十九年という長い歴史の中で、たった二年間という短い期間でしたが、前田小での思い出は宝物です。絶対に忘れません。子どもたち、保護者の方々地域の方々先生方、すべてのみなさんへありがとうございました。



前田つ子に感謝

校務員 成田 正人

二年前、長年勤めた職場を退職し新しいことにチャレンジしようと思い、決まったのが校務員の仕事。赴任先が前田小学校。初登校に夢膨らませ校門をくぐり抜ける。新入生の気持ちになり少し緊張。出会った子ども達は、大声で「おはようございます」。なんて清々しい気持ちのいい挨拶だろうか。素直な挨拶をもらいこれが真の挨拶なんだ。などと思いき前田小にお世話になり二年が過ぎてしまいました。百四十九年の歴史ある前田小学校に比べたらたかが今年度含め三年。だが自分にとっては、前小は思い出に残る心うれしい一ページとなりました。

地域とともにある前田小学校の存在は、過去の数々の活躍から廃校になるのとても寂しい限りですが、今まで以上に前田つ子達の活躍を心から応援し、飛躍されることを願います。

先生方からのメッセージ



令和5年 運動会



令和5年 全校親子ななか山登山



少しでも振り返って

校務員 白旗 美妃湖

初めて前田小学校に来たのは今から十年前、図書支援員の研修の日でした。図書室の開放的なスペース、大きな窓から見える山と田畑、そして何と言ってもインパクトのあるカモメさんのオブジェ（一目惚れしました）。大自然の中にあるような図書室は読書が進みそうだなと思ったことを覚えています。

昨年は留守番部隊の旗振り（白旗ですが赤い旗を振りました）でしたが、今年はななか山登山に参加することができました。ハプニングもありましたが、みんなで登ったななか山から見た景色は素晴らしいものでした。違う季節にまた登ってみたいです。

もうすぐ閉校ですが、一緒に笑ったこと、楽しく過ごしたことは私の中にずっと残るでしょう。

閉校記念事業実行委員会組織図

実行委員会

実行委員長	庄司 満久 (元PTA会長)
実行副委員長	織山 英行 (PTA会長)
	庄司 克宣 (学校運営協議会会長)
実行委員	池田 文明 (学校運営協議会)
	加賀 隆之 (学校運営協議会)
	北村 文雄 (学校運営協議会)
	佐藤 厚子 (学校運営協議会)
	佐藤 慶博 (学校運営協議会)
	柴田 裕 (学校運営協議会)
	白沢 光慶 (学校運営協議会)
	相馬 千春 (学校運営協議会)
	成田 彦智 (校長)
記念誌部門	部長 大野むつみ (PTA副会長)
	副部長 柴田こずえ (PTA文教・図書部長)
式典部門	部長 佐藤 純 (PTA副会長)
	副部長 岸野輪多留 (PTA総務部長)
	森川 渉哉 (PTA生活・保体部長)
事務局	松岡 みつ子 (教頭)
会計責任者	成田 彦智 (校長)
会計担当	滝口 瑞輝 (事務職員)
監査委員	庄司 絵美
	松橋真喜子

記念誌部門

部長	大野むつみ (PTA副会長)
副部長	柴田こずえ (PTA文教・図書部長)
(PTA)	
春日 裕和	佐藤 優子
白沢友樹子	松橋真喜子
柴田 貴明	小瀧 伸彦
森川 茂昭	
(実行委員)	
池田 文明	加賀 隆之
北村 文雄	白沢 光慶
(学校)	
佐藤 奏音	鎌田 淳子
加賀美和子	
【主な業務】	

・閉校記念誌の作成と配付

式典部門

部長	佐藤 純 (PTA副会長)
副部長	岸野輪多留 (PTA総務部長)
	森川 渉哉 (PTA生活・保体部長)
(PTA)	
松浦友加里	浜田 愛実
庄司美香子	織山 友里
関口 隆広	庄司 絵美
橋本 幸三	三浦 正人
(実行委員)	
佐藤 厚子	佐藤 慶博
柴田 裕	相馬 千春
(学校)	
畠山 直子	中村 修
佐藤 由菜	和田 静香
【主な業務】	

・記念式典への協力
・閉校記念事業の計画・運営

編集後記

記念誌部門 部長 大野 むつみ

まずは、この記念誌を手にとっていたことに、心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。百四十九年という壮大な歴史を一冊にまとめることは容易ではありませんでしたが、記念誌部会の皆さんをはじめ、先生方、保護者の皆さん、地域の方々、卒業生、そして在校生の子どもたち、携わってくださったすべての方々にお力添えいただいたおかげで発行することができました。

十数年ぶりに前田へ家族で帰郷してから五年、母校が閉校を迎えるタイミングに偶然にも居合わせ、記念誌制作に携わることができたことは大変喜ばしく、前田小学校での思い出が最後にまた一つ増えました。懐かしい写真の数々からは、いつの時代も子どもたちの笑顔、先生方の笑顔、保護者の笑顔、そして地域の方々の笑顔がたくさん見られました。

子どもたちはこれから新しい場所で新たな道を歩みはじめます。今後も変わらず地域全体で前田っ子の成長を見守り、応援していただけますようお願いしております。ありがとうございました。そしてこれからもどうぞよろしく願っています。

北秋田市立前田小学校
閉校記念誌

前田富士

発行日 令和五年十一月十八日

編集 前田小学校閉校記念事業実行委員会記念誌部門
発行 前田小学校閉校記念事業実行委員会

実行委員長 庄司 満久

印刷 (有)米内沢中央印刷

北秋田市立前田小学校

〒〇一八―四五―一五

秋田県北秋田市阿仁前田字下川端一〇三番地一

電話 〇一八六―七五―二〇〇二

